キングジムCSR報告書 2007

KING JIM CSR REPORT

キングジムCSR報告書2007

KING JIM

KING JIM

株式会社キングジム

東京都千代田区東神田二丁目10番18号　〒101-0031

ミックス品
FSC認証林より管理された森林からの製品グループです。
www.fsc.org Cert no. SGS-COC-1466
© 1996 Forest Stewardship Council

PRINTED WITH SOY INK
大豆油インクを使用し、印刷しています。

発行:2007年9月

Contents

Top Interview
新しいものを作り出し、「世の中のお役に立てること」を目指しています …… 1

価値創造と新市場創造 …… 4
「負の解消」の追求
ラベルライター「テプラ」/点字「テプラ」
勤怠管理システム「クロックオン」
TOPICS： ファイリングを通じて家庭の「困ったな」を解消したい …… 8

顧客への価値の提供 …… 10
顧客満足、高い信頼性の維持／継続的コミュニケーション
お客様相談室／事故・トラブル対応
お客様に関する情報の保護／環境意識の啓発
情報活用の啓発
TOPICS： 情報セキュリティのご提案 …… 16

環境経営の推進 …… 18
環境憲章の制定／環境会計／従業員教育
温暖化防止／環境マネジメントシステム
廃棄物対策／マテリアルフロー／化学物質管理
環境問題への取組み／環境推進体制

環境を意識した商品の取組み …… 26
オルタナティブテクノロジー
「リデュース」「リユース」「リサイクル」の3R
違法伐採問題に関する行動指針
環境配慮素材への取組み

従業員とともに …… 32
人材の登用と活用/従業員のエンプロイアビリティ
人権の配慮／働きやすい職場環境の実現
いきいきと働ける職場づくり

TOPICS： 女性が活躍しやすい風土と機会を拡大し、業績達成意欲のある人材を …… 36

社会とともに …… 38
点字「テプラ」を活用した、点字に触れる出張授業を行いました
教育・スポーツ支援／インターンシップ/国際社会とともに

経営理念・行動指針 …… 40
マネジメント体制 …… 41
広報・IR 44
財務データ・沿革 45
KINGJIM GROUP PRODUCTS 46
第三者コメント 48
会社データ/編集後記 49

編集方針 お読みいただくにあたって

当レポートは、キングジムグループの事業活動全般にわたって、CSR（Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任）の観点から、ご紹介するものです。
さまざまなステークホルダーの皆様に、キングジムグループをより知っていただき、コミュニケーションを深めていただくためのツールとして作成いたしました。
当CSR報告書を編纂するに当たり、特に以下の点に配慮いたしました。
記述項目は、以下のガイドラインの項目を参考に、網羅性に配慮しつつ厳正に選定し、当社グループの状況を記載しております。

- 「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2002」（GRI）
- 「社会的責任（CSR）経営自己評価シート」（経済同友会 2005年）
- 「環境報告書ガイドライン 2003年度版」環境省
- 「環境会計ガイドライン 2005年版」環境省

当レポートは年次報告書として作成するものであり、記述の対象期間は、2007年度（2006年6月21日～2007年6月20日）の内容を中心としております。ただし、ご理解を深めていただく必要に応じて、この期間の前後の内容についても記述しております。
また、キングジムグループ全体に関する内容を主としておりますが、株式会社キングジムに限定した記述に関しては、「キングジム」と明示し、「キングジムグループ」と区別しております。

当レポートの内容は、キングジムのホームページでも公開いたします。

Web Address http://www.kingjim.co.jp

また、内容についてのご質問、ご指摘、またご感想などは、ぜひ、メールでお寄せください。

Mail Address webmaster@kingjim.co.jp

電話・FAXでのお問い合わせは、下記へお願いいたします。
株式会社キングジム 広報室

TEL 03-3864-7073

FAX 03-3864-9258

Top Interview

新しいものを作り出し、「世の中のお役に立てること」を目指しています。

株式会社キングジム　代表取締役社長

宮本　彰

Top Interview

新しいものを作り出し、
「世の中のお役に立てること」を目指しています。

Q. CSR活動とは、どのようなものでしょう?

「世の中の役に立っている」と、自信と誇りをもって思えることで、人は仕事を続けていけるのではないでしょうか? 当社に置き換えて言うなら、私たちが扱っている文房具は、文化の発展に役立っていると自負しています。

もし、紙や鉛筆がなかったら、どうやって子どもたちは勉強するのか? 情報は伝達されていくことができるのか? そう考えると、私たちの事業そのものが文化に貢献していると言えるでしょう。キングジムのファイルを使って情報を整理し、それらを効率的に活用するという面で、多くのユーザーの皆様のお役に立っていると思います。世の中のお役に立つことが、当社の使命であり、あらゆるCSR活動の基礎と考えています。

Q. キングジムらしい取組みとは?

「世の中にないもの、新しいものを作っていこう」と、創業以来、開発型の企業としてやってきました。2003年に制定した経営理念も、「独創的な商品を開発し、新たな文化の創造をもって社会に貢献する」としました。キングジムには、「新しいことにチャレンジすることを楽しむ」、そういった社風が根づいています。私自身、社内の開発会議で今までにないものが提案されると、ワクワクします。CSR活動においても、当社ならではのチャレンジ精神を発揮した成果を出したいと思います。

Q. とくに重要視することは、何でしょう?

お客様に喜んでいただけること、なによりそれが大切です。行動指針においても、<顧客に対して>どうあるべきかを徹底しています。お客様に望まれているものを提供でき喜んでいただけた時、社員に自信も生まれ仕事が楽しく感じられます。有意義な仕事を通じて、社員そして家族が幸せを感じ、ひいてはみんなが幸せになれる世の中がいいですね。

私は、学生時代から自然に親しむことが好きで、海や山へよく出かけることもあり、地球環境問題には強い関心があります。私どもの製品は、日常的に使っていただくものですので、とくに環境に配慮した製品づくりを意識して、商品企画の段階から取り組んでいます。

Q. 社員とのコミュニケーションは、どうとっていますか?

キングジムは、アットホームで伸びやかな職場だと思います。社員のいいところを褒め、伸ばしていくような雰囲気は、このまま続けていきたいですね。

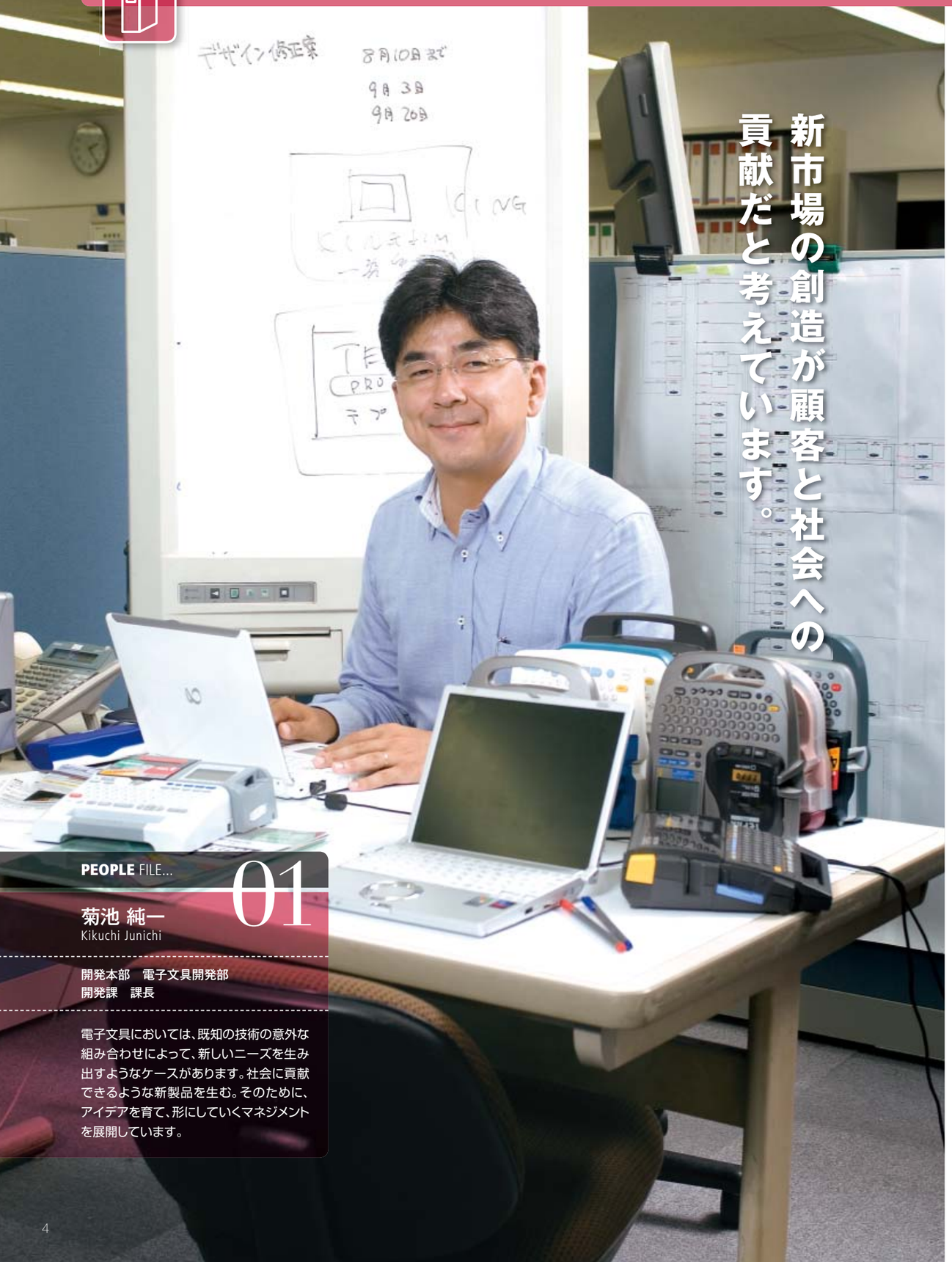
適材適所に、任せられる人をいかに配していくかが、社長である私の役割だと考えています。

最近、社内向けにブログを始めました。「意見が一致した時に、人は初めて親近感を持つことができる」と何かにありましたが、誰にでも好かれることは難しいし、いろいろな意見があって当たり前なので、ともかく毎日、書いています。少しでも、私の考えていることを知ってもらえれば、社員とのコミュニケーションを深めることができるでしょう。

Q. これからの活動は?

近頃の社会は、コミュニケーションの手法が多様になった分、偏った批判が繰り返されることが時折見受けられます。また、企業が発信する情報より、ブログや口コミなど個人発信情報の方が信じられている場合も多々あり、企業が信頼されない風潮は残念で、とても悲しいことです。

一部上場企業としての情報開示に積極的に取り組み、私としては、会社のスポークスマンである立場を一層意識して行動し、キングジムがこれからも世の中の人々に信頼される会社であり続けるように努めていきたいと思っています。



新市場の創造が顧客と社会への貢献だと考えています。

PEOPLE FILE... 01

菊池 純一
Kikuchi Junichi

開発本部　電子文具開発部
開発課　課長

電子文具においては、既知の技術の意外な組み合わせによって、新しいニーズを生み出すようなケースがあります。社会に貢献できるような新製品を生む。そのために、アイデアを育て、形にしていくマネジメントを展開しています。

利用者の「負」の解消を目指して、商品開発に取り組んでいます。

「負の解消」の追求

●創業者から受け継いだ姿勢

キングジムでは、普段使いづらいな‥と感じる「負」を解消することを課題として商品開発に取り組んでいます。創業者の宮本英太郎※1が考案した人名簿※2も、アドレス帳がない時代にハガキなどの差出人部分を利用して名簿を作るというアイデアで生まれました。これは当時の人たちにとって、不便に感じていたことが解消された画期的な商品でした。その創業者の意志は現在でも私たちキングジムの社員に受け継がれています。

モノを使うときどのような仕様・形状にしたら心地よい使用感をご提供できるのかを、また、目に見える不便はもちろんのこと、お客様が普段際立って不便には感じていない小さな部分でも見逃さぬように、何度もチェックを繰り返し、問題点を発見し、それを解決する方法を考えます。小さな負でも常に解消することを意識し続けることで、より多くのお客様に愛される商品作りに努めています。

●「レバーリングファイル」の誕生

私たちキングジムの開発思想である「負の解消」から生まれた「レバーリングファイル」は、今まで主流であったリングファイルの概念を覆すものです。

今までのリングファイルは、リングに直接手を触れて開閉するものが主流でした。そのため、リング開閉時に指が挟まれるのではないかという不安を感じる人も多く、さらにリングが金属の場合は、開閉時のバチンという音が恐怖感を感じる原因となっていました。そこで、この「負」をどのような仕様にしたら解消できるのかを追求する日々が始まりました。

まずは、「リングに手を触れずに開閉できる」こと。

既に、海外ではレバーが付いてリングに手を触れることなく開閉できるとじ具がありました。しかし、このリングとじ具は日本で一般的に使われている形状とは異なり、また左右のリングの片方しか開かないという負を持っていました。そこで、既存品のイメージに近づけながら左右両方のリングとも大きく開いて抜き差しがしやすく、かつそのリングに直接触れずにレバーで開閉操作できるリングファイルの開発を目指しました。国内で一般的なリングの外観に近づけるには、むき出しになっている機構部分をプレートで覆い、機構が見えないようにしなければなりません。そこで、機構部分を極限まで小さくしフラットな形状を実現しました。こういった設計により国内でポピュラーなファイルの一つであるリングファイルの「負の解消」を実現した「レバーリング」が誕生しました。今後も新しいリングファイルの定番としてお使いいただけるように改良に努めてまいります。

VOICE 開発者の声

リングファイルのとじ具は、リングを手で摘んで開閉する操作がほとんどです。構造は徹底的に合理化されており、新商品開発が難しい分野の一つでした。
「リング操作での大きな音が怖い」という「負の解消」に向けてのアプローチは様々ですが、リングとじ具に操作レバーを取り付けて開閉させるという、誰にでも分かりやすい手法を採用することにしました。設計する上で意識したのは、なるべく部品点数を増やさずに現行品と変わらない印象を与えることです。そのため、1枚の底板を回り込ませる形で中央を覆うカバー部分の作りこみを行っています。クルマに例えるならば、40年ぶりにモデルチェンジしたミニが、初代のデザイン記号を有しているのと似ているかも知れません。レバー開閉という新しい作法と、このプロポーションが広く受け入れられることを切に願っています。

開発本部
熊井 大地

※1 宮本英太郎
1893-1975 キングジム創業者。和歌山県出身。東京で「人名簿」「印鑑簿」の発明家として活動を開始し、1927年に株式会社キングジムの前身である「名鑑堂」を創業。数多くの独創的なファイル・バインダーの開発、製品化に尽力した。1958年黄綬褒章、1965年勲六等旭日単光章。

※2 人名簿
宮本英太郎の発明した「切り抜き式人名簿」は、ハガキの差出人部分を切り抜いて保存するファイル。名刺の普及する以前の時代に、このファイルによって住所、氏名、電話番号を管理するというアイデアだった。

レバーリングファイル

「人が喜ぶものを創りだそう」という姿勢は、創業以来、脈々と　　続いています。

ラベルライター「テプラ」

TR55

1988年に発売したラベルライター「テプラ」は、日本語のワープロ機能を内蔵して、漢字まじりのラベルを作ることができる、それまで世の中になかったまったく新しい商品で、ファイルの専業メーカーであった当社のファイルのタイトルを美しく簡単に作りたいという発想から生まれました。

当時はまだ、キーボード入力に不慣れな方が多いことから、「ダイヤル操作で簡単に入力できる」というコンセプトが多くの皆さまに受け入れられ、瞬く間に普及したことが、今日のラベルライターという商品ジャンルの礎（いしずえ）を築きました。

その後もラインナップを広げ、JIS配列のキーボード機種、レイアウトの自動化機能、使用できるラベル幅の拡大など、「ラベルを活用する」という皆さまの多様なニーズにお応えし、「テプラ」は進化してきました。

点字「テプラ」

●ノーマライゼーション社会の支援

障がいを持つ方でも、できるだけ健常者と同じように生活を営めるようにしようという「ノーマライゼーション」と呼ばれる理念が、近年広まっています。しかし、目の不自由な方への配慮としての点字表示に関しては、まだまだ不十分な状態です。

点字の表記には独特のルールがあり、専門の知識が無い人では、簡単につくることができません。専門の業者に作成を依頼しなければならず、コストや時間がかかります。また、専門知識がある場合でも、点字ラベルを作成する専用の機械は高価なので、一般の企業や商店などでは導入しにくいため、点字表示が広がりにくかったのです。

また、点字だけの表示は健常者には読めず、目の不自由な方に充分な介助ができないという問題もありました。そのため、点字「テプラ」は文字と点字の両方を1枚のラベルに表示することで、同じ情報を共有できることを目的として開発されました。

●テプラの技術を、点字に展開

その最大の特長は「自動点訳機能」によって点字の知識がない方でも、ワープロ入力の感覚で、簡単に点字ラベルを作成することができるという点です。また、印刷文字と点字の両方を、一枚のラベルで表示することができるため、貼る場所を間違えたり、上下を逆さまに貼ってしまうミスを防ぐことができます。それだけでなく、点字ラベルに印刷文字を同時に表示すれば、健常者も点字表示の存在に注目し、視覚障がい者をサポートする意識を高める結果になることが期待されます。従来の点字ラベル製作機に比べ、点字「テプラ」は比較的容易に導入できる、お求めやすい価格設定となっています。

キングジムでは、この点字「テプラ」によって、これまであまり点字表示を導入していなかった一般の企業や店舗などでも、積極的に点字表示を導入していただき、共にノーマライゼーション社会の支援をしていきたいと考えています。

SR6700D

ラベルライター「テプラ」は、美しいラベルでタイトル表示をするという習慣を創造し、今やファイルや備品の整理に欠かすことができない商品となっています。オフィスをはじめ、家庭やお店、工場、研究所、学校、ホテルなど、さまざまな場所で幅広くお使いいただき、累積販売台数は500万台を越え、まさにラベルライターの代名詞となっています。

●「テプラ」関連2007年度新製品

「テプラ」PRO SR330

「テプラ」PRO SR530

「テプラ」PRO SR130

ラベルラミネーター
RL18

勤怠管理システム「クロックオン」

「キングファイル」や「テプラ」など、情報活用の現場で信頼される製品を送り出してきたノウハウを活用し、キングジムならではの「ソリューション」をご提案しています。

勤怠管理システム「クロックオン」シリーズは、非接触ICカードを使った、新しい形のタイムレコーダーです。シンプルで導入しやすい合理的なシステムで、煩雑な事務処理を大幅に効率化することができます。

CLR500

CL50SN

●「テプラ」は多彩な用途に活用され、ラベルライターの代名詞となっています。

ファイルのタイトルを美しく表示します。

スイッチ類や注意等の表示にラベルでコミュニケーションを推進します。

4mm～36mmまで、ラベル幅のバリエーションでさまざまな対象に貼れます。

TOPICS

ファイリングを通じて家庭の「困ったな」を解消したい。

「困ったな」から生まれた取扱説明書ファイル

キングジムでは、お客様の目線に沿った商品開発を心がけています。開発思想である使用者の「負の解消」は家庭向け商品においても重要な要素です。

一昨年に発売し、好評をいただいている「取扱説明書ファイル」は、開発者自身が家庭にたくさんある取扱説明書をスッキリと整理できる商品がないことを不便に感じていたことから開発がスタートしました。取扱説明書と一緒に同梱されている保証書やCD-ROMも一括収納でき、厚手の説明書でも収納できる、しっかりとした丈夫なポケットが必要と考えました。取扱説明書をきちんと整理して活用しやすい形で保管できる仕様とはどのようなものなのかを徹底的に調べ、試行錯誤を繰り返し、この大ヒット商品が誕生したのです。

VOICE
開発者の声

使用者が負を感じる製品は、身の回りにまだまだたくさんあると考えています。
取扱説明書ファイルをモデルに、これからも使用者の視点で、
より使いやすい新たな商品を創造していきたいと思います。

開発本部
高橋 荘太郎

「解決！生活収納シリーズ」で「毎日の生活にちょっとの便利」を

家庭では、オフィスと違いさまざまな種類・大きさの収納物があります。

それらを大きくひとつにまとめても結局はバラバラになり、その結果「すぐに見つけることができない」=「整理できていない」ことになりがちです。

私たちは、「使いたいときにすぐ使える」=「整理」だと考えます。そのため、収納物の利用のされ方や使用シーンをしっかり把握して、その内容物にあった商品を開発してまいります。

キングジムでは、「解決!生活収納シリーズ」として、お客様が家庭で収納・整理に困っていることを解決する商品群を提案していくことで、「毎日の生活にちょっとの便利」を提供していきたいと考えています。

領収書ファイル

家庭保管しておきたい伝票類を一括整理できるファイル。電気・ガス・水道などの領収書や、クレジット明細などのA4三つ折り明細書も収納できます。半年毎や年間を通して保管しておきたい伝票類の整理に最適です。

クッキングファイル

スーパーでもらえるレシピを整理できるファイル。キッチン周りで使っても水に濡れにくく、取り外せるポケットなので携帯にも便利。フックに吊り下げたり、卓上型に立てたりできるので、狭いキッチンスペースを上手に使えます。

また、表紙にはキッチンになじみやすい白、オレンジ、黄緑を採用しています。

ポイントカードケース

ついつい増えてしまうポイントカード類を使いやすく収納できるケースです。取り出しやすいジャバラ状に仕切られたスペースと、自由に使えるスペースが設けてあるので、頻繁に使用するカードと使用頻度の低いカードとに分けて収納することができます。本体は、上品な雰囲気のパールカラーを採用しています。

家庭の医療ファイル

診察券や保険証などの医療関連グッズを一括管理できるファイル。カード専用ポケットには診察券や保険証、2段ポケットにはお薬手帳や医療費控除用のレシート、1段ポケットには処方薬の説明書や病院案内の小冊子なども収納できます。また、通院時に必要なものだけを携帯するのに便利な「持ち出しケース」付きです。

ケーブル&アダプタケース

電化製品を購入すると増えてしまうケーブルやアダプタ類。いざという時にどれがどれだか分からなくなることがあります。そんなケーブル類をわかりやすく一つに整理できるケースです。インデックス見出し、インデックスバンド、付属インデックスを活用し、ロケーション管理が簡単にできます。小型のケーブル収納専用サイズもあります。

顧客の信頼を得るための努力こそ、社会的責任の土台です。

PEOPLE FILE... 02

阿部 康也
Abe Yasunari

東京支店　営業一課

付加価値の高いキングジム製品を、多くのお客様に使っていただくことが使命です。代理店様・小売店様との高い信頼関係をベースに、商品をお届けしています。ISOTの展示会場では、ユーザー様の声を直接うかがい、明日の提案活動に繋げていきます。

∴ 顧客満足（CS）、高い信頼性の維持

●お客様の声を大切に

「顧客満足の実現」は当社にとって、最も重要な経営課題のひとつです。多くのお客様に支えられて高い評価をいただいている“キングジムブランド”を、時代を超えた高品質の代名詞として、さらに成長させていくためには、お客様とのコミュニケーションが重要だと考えています。

当社の製品をご購入いただいた「現在のお客様」はもちろん、これから当社製品を手にとってくださる「将来のお客様」など、すべてのお客様からのご意見やご要望、ご質問などを受け付けるコミュニケーションの窓口となるのが、お客様相談室です。

お客様相談室に寄せられた声は、社内の各部門にフィードバックされます。それにより、新製品の企画・開発はもちろん設計・製造・販売・サービスなど、すべての事業活動において、お客様の視点に立った製品・サービスの提供を追求し、顧客満足向上に向け取り組んでいます。また、修理部門では修理されたお客様を対象に修理アンケートを実施し、さらなる顧客満足向上に努めています。

●品質への信頼のために

これまで培ってきた品質の継承と、未来に向けてさらに発展する品質を実現するために、キングジムは全社一丸となり各部門が積極的な連携を図っています。

1998年7月には、つくば工場における「パイプ式ファイルの設計/開発および製造」と、電子文具事業開発本部においては「ラベルライター、テープおよびアクセサリーの設計・開発」で、品質管理および品質保証のための国際規格「ISO9001※1」の認証を取得しました。また、安全・品質にかかわる要求基準を明確にした製品仕様書、各部材・製品の品質基準を設定した品質基準書を策定し、国際規格に適合する品質保証体制を構築しています。

私たちは、品質とは適正な価格設定やタイムリーな物流も含む総合的なものであると考えています。そこで、高品質な製品を速やか、かつ安定的に供給するため、国内外の生産・販売拠点を高次元な情報ネットワークで結び、戦略的なシステムを構築しています。

また、より安全な製品をお届けするために、ISO9001の手順に則り製品ごとに安全性の検証を実施しています。怪我や物的損害の防止はもちろんのこと、誤使用や誤操作を防止するため、製品や説明書等の注意事項について関連部門が協議し、お客様がより安全にご使用いただける「適切な表示」の徹底を図っています。

つくば工場

お客様相談室では、全国のお客様からのお問い合わせやご意見をお聞きしています。

※1 ISO9001
ISO9001 認証取得
JQA-2508つくば工場
パイプ式ファイルの設計/開発および製造
JQA-2501電子文具事業開発本部
ラベルライター、テープおよびアクセサリーの設計・開発

お客様の声は、私たちの財産です。継続的コミュニケーションを通し、信頼いただける企業を目指します。

※1 FB会員
ファイル、バインダーを多く採用いただいている企業や組織の方々を対象に情報提供等を行う会員組織です。

※2「テプラ」貼っててよかったclub
『「テプラ」貼っててよかったclub』では、ユーザーに投稿いただくなどの方法で、様々なラベル表示の活用事例をご案内しています。

※3 メールマガジン
ユーザーの皆様に新製品や便利な商品活用情報などをお伝えするメールマガジン『KJ-TIMES』を配信しています。「テプラ」はもちろん、「キングファイル」をはじめとするファイル関連用品などの情報を満載しており、弊社ホームページから登録できます。

※4 ファイリング研究室
ファイリング研究室は当社のファイル用品を使った効率的な文書管理を支援するため、「ファイリングコンサルティング」「セミナー」などを有料で実施している営業本部営業推進部の一部門です。

※5 お客様相談室
フリーダイヤル全国共通
0120-79-8107
受付時間:平日(月曜日～金曜日)午 前9:00～午 後5:30携帯電話・PHSをご利用の場合は、以下をご利用ください。
東　京 03-3864-1234
大　阪 06-6263-1654
名古屋 052-935-4038
福　岡 092-413-3977
●ホームページアドレス
http://www.kingjim.co.jp/

∴ 継続的コミュニケーション

顧客満足の向上には、商品をご利用いただいているお客様との継続的コミュニケーションが不可欠です。キングジムでは、「ファイル」をご使用いただいているお客様で組織された《FB会員※1》、「テプラ」をご使用いただいているお客様で組織された《「テプラ」貼っててよかったクラブ※2》を運営し、積極的にお客様との情報交換や情報提供を行っています。また、新製品などの最新情報をお届けする《メールマガジン「KJ-TIMES」※3》を定期配信しています。

また、「ファイリング研究室※4」では、個別にファイリングについてご相談をお受けする他に、「ファイリングセミナー」を積極的に開催しています。

キングジムのホームページ(www.kingjim.co.jp)では商品紹介のほか、電子製品のFAQページや各相談窓口を設け、ウエブサイトによるお客様とのコミュニケーションを図っています。

また、ISOTなどの展示会へも積極的に出展を行い、商品のご案内をすると共に、お客様の声に耳を傾けることに努めています。

∴ お客様相談室(ユーザー対応)

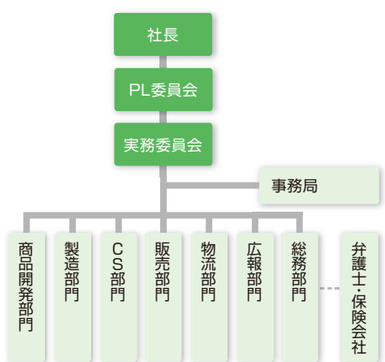
キングジムではお客様とのコミュニケーションのために重要な窓口として東京・名古屋・大阪・福岡の全国4ヶ所にお客様相談室※5を設置しています。フリーダイヤルやメールを中心としたお客様からのご質問・ご意見・ご要望に対しては、迅速で誠意のある対応に努めています。2007年度は8万4千件ものお問合せをいただきました。お客様相談室に寄せられた貴重なご意見は、キングジムグループ社内各部門にフィードバックし、企画・開発・設計・製造・販売・サービスなど、すべての事業活動において、顧客満足向上に向けた取組みの源泉となっています。

CS部 東京お客様相談室のメンバー。
大阪・名古屋・福岡にもお客様相談室を設置している。

∴ 事故・トラブル対応(PL委員会)

万一、ご購入いただいた製品に不具合が発生した場合には、迅速かつ透明性のある対応を行い、より安心してご使用いただけるよう努めています。安全性の管理機関、また調査・審議・決定機関として社長を中心としたPL委員会を設置し、より安全な製品をお届けできるよう万全を期しています。

□ PL対策社内組織(PL委員会)



∴ お客様に関する情報の保護(個人情報保護)

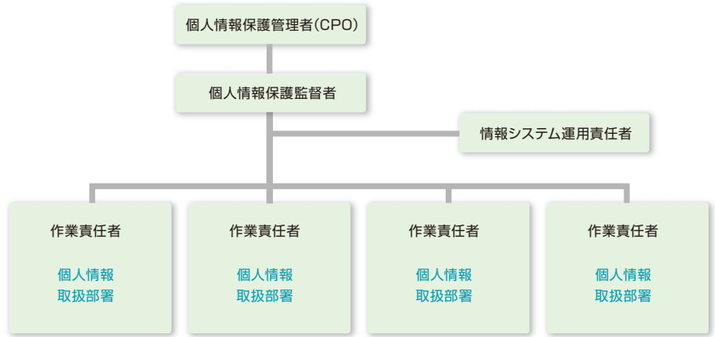
●個人情報保護の強化

キングジムは、2005年4月に完全施行された個人情報保護法を基準に、同年4月に個人情報管理規程を制定しました。この規定を適切に運用するため、内部監査を実施し個人情報の保護に万全を期しています。

●個人情報保護に関する内部監査実施結果の報告

2006年度に実施した内部監査の結果、個人情報管理規定に違反した事実はありませんでした。今後も引続き適切な運用を継続いたします。

□ 個人情報管理の組織および体制



●情報セキュリティ委員会の活動

適切な情報マネジメントシステムを構築し、維持・運営するために全社の各部門から委員を選出した情報セキュリティ委員会を設置しています。その役割は

(1)情報資産の価値評価
(2)情報資産のリスク分析・評価
(3)リスク対策の決定

を行っています。

個人情報や、営業秘密情報を適切に管理できるよう情報セキュリティを更に強化するための活動を実施しています。

当社が取得している情報セキュリティマネジメントの認証マーク

[登録番号]
JQA-IM0268
[組織]
(株)キングジム営業本部
営業推進部(特注課を除く)
[所在地]
東京都千代田区東神田2-6-9
アルテビル東神田II　3階
[登録範囲]
①ファイリングコンサルティングサービスの提供および関連する商品の販売・関連業務(ファイリングソフトウェア開発、教育資料作成)の実施
②顧客(社内含む)に対する商材の企画・提案・販売と生産関連業務(仕入・受発注・在庫管理)の実施
[登録日／改訂日]
2005年9月9日／2006年9月8日
[審査登録機関]
JQA
(財団法人　日本品質保証機構)
[認証取得番号]
・ISO/IEC27001:2005

JQA-IM0268

「環境意識」や「情報活用」の啓発活動に取り組んでいます。

環境意識の啓発

メーカーの使命として、ライフサイクル全体で環境を配慮した商品を提供する必要があるとキングジムは考えます。 ■再生材を多く使用しているか ■他の材料に置き換え可能か ■リユース（再使用）出来る使用方法か ■分別廃棄が可能か ■廃棄後の処理、確認は万全か 等々。このような、多様な観点から環境負荷の低減に取り組んでいます。その結果、グリーン購入法※1の判断基準やエコマークの認定基準等を満たした環境配慮商品をお届けすることができるのです。

キングジムでは、このことを幅広くお客様にお伝えするために、さまざまな手段を用いて情報提供を行っています。

●印刷物の発刊

■キングジム『総合カタログ』にて、環境情報をご紹介しています。

■環境配慮商品のみを編集した『環境配慮商品カタログ』を、定期的に発刊しています。

「エコプロダクツ2006」に出展したキングジムブース

●環境展示会への出展

毎年12月に開催される、環境をテーマとした展示会「エコプロダクツ」（主催:産業環境管理協会、日本経済新聞社）に、第一回より出展しています。

●カートリッジ回収ボックスの設置

テプラ使用済みテープカートリッジ回収ボックスを設置しているお客様から、テープカートリッジが満杯になり次第、キングジムにボックスを送り返していただいています。

※「テプラ使用済みテープカートリッジ回収」については、P.22をご覧ください。

●Webによる情報開示

■キングジムWebサイト（http://www.kingjim.co.jp/）に、環境情報を掲載しています。

■環境省Webサイト内（http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/index.html）にキングジム独自の環境マーク※2を紹介しています。

※1 グリーン購入法
正式名称「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」

総合カタログ

環境配慮商品カタログ

※2 環境マーク
キングジム商品の素材情報・使用時の情報・廃棄時の情報などについて、お客様自身が判断出来る様にカタログに掲載したマーク

□ キングジム「環境マーク」

使用ステップ
古くなった商品も使用可能な部分を「再使用（リユース）」できる設計や、部材を交換することでいつまでも「長期使用（ロングライフ）」できる商品を開発しています。使用段階でのユーザーの「環境配慮」にお応えします。

- ECOLOGY リユース：「捨てる」ことから「再使用」していくことが、ゴミの削減につながります。表紙やとじ具部材の再使用が可能です。
- ECOLOGY ロングライフ：限りある資源を大切にするために、耐久性のある表紙や背見出し紙の交換などで長期使用が可能になります。

製造ステップ
商品の主要な部材に「再生紙」、「再生PP」や「再生PE」などを利用することによって、省資源化をすすめます。商品の企画・設計から環境配慮を重要テーマと位置づけています。

- ECOLOGY 再生紙：限りある森林資源の有効活用を考えて、再生紙を使用しています。
- ECOLOGY 再生PP：表紙やポケットに再生PPを使用しています。
- ECOLOGY 再生PE：表紙や部品に再生PEを使用しています。再生PEのみを使った商品と、PEガス管＋再生PPの混合材を使用した商品があります。
- ECOLOGY 再生PS：プラスチック成型品の原料に、再生ポリスチレン（スチロール樹脂）を使用しています。
- ECOLOGY 非木材紙：森林保護・育成の観点から、非木材資源である「バガス」を活用した商品です。
- ECOLOGY バイオマス資源：表紙にバイオマス由来プラスチックを使用しています。化石資源の保護や地球温暖化の防止を推進します。

廃棄ステップ
商品を廃棄するときのことまで考慮に入れ、可燃・資源ゴミに簡単に分別できる「分別廃棄」仕様や焼却しても塩化水素ガスが発生しない「オレフィン素材」の使用を積極的にすすめています。

- ECOLOGY 分別廃棄：表紙ととじ具を簡単に取り外すことができる構造になっているので、廃棄するときに素材ごとのゴミ分別ができます。
- ECOLOGY オレフィン素材：表紙にオレフィン系の素材を採用。「オレフィン」は炭素と水素の化合物のため、廃棄後に焼却しても塩化水素ガスが発生しません。
- ECOLOGY 回収・再資源化：使用済み商品を回収して、資源の再使用やゴミの減量化を行います。
- ECOLOGY 回収・リユース
- ECOLOGY 鉛フリーはんだ：実装部品に使用するはんだについて、鉛を含まない材料に切り替えています。

情報活用の啓発

●展示会やイベントでの無料セミナーの開催

企業や組織をとりまく環境は日々厳しさが増しています。そこで共通して求められる管理要件の一つが文書管理であり、それを支えるのがファイリングシステムです。キングジムは、現場で活躍されているファイリング担当者の一助となるように、展示会やイベント会場などで、あらゆる業務の基本となるスキル（技能）であるファイリングシステムの解説を中心とした無料セミナーを実施しています。

自社会場でのセミナー風景

展示会でのセミナー風景

●メディアを活用してファイリング啓発

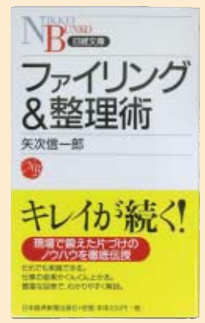
中堅ビジネスマンを対象としたビジネス誌である雑誌や、インターネットメディアの記事を通じて、業務効率アップや情報セキュリティ対策に役立つファイリングに関する情報を発信しています。「月刊アスキー」（2006年12月号から2007年3月号まで）では、「デジタル時代に身につけたい!ファイリングテクニック」としてデスク周りの整理のコツからオフィスの共有文書の管理方法までを紹介した記事を掲載しました。また、「IT media Biz.ID」のインターネット記事では、机の上が片付かないIT記者を対象に、ファイリング研究室のスタッフが、現場で実際にその整理整頓のノウハウを披露する形で指導する経過を連載し、好評を博しました。

ファイリング研究室長・矢次信一郎が、2007年2月、日経文庫より「ファイリング&整理術」を出版しました。本書は、ファイリングを重要なビジネススキルととらえ、ファイルを活用した情報整理の具体的な方法と解説をしたものです。主な対象読者を書類整理や片づけることが苦手なビジネスパーソンとし、すぐに実践でき、仕事の能率が上がる「二度と散らからない五つの心得」をはじめ、初心者にもファイリングのノウハウを理解しやすい内容となっています。

また、オフィス内の情報共有を推進するオープンファイリングシステムや、近年普及している電子化文書に対応する整理方法など、社内業務を円滑に進めるための手段もご提案しています。

「月刊アスキー」の記事

Biz.IDの記事
ITmedia（www.itmedia.co.jp）



書名:日経文庫「ファイリング&整理術」
著者:矢次 信一郎
判型:新書判
頁数:168頁

TOPICS

情報セキュリティのご提案

ますます企業の取組みが問われる情報セキュリティ。
「紙文書」の整備ができていれば、
防げる事故もあります。

内部統制と情報セキュリティ

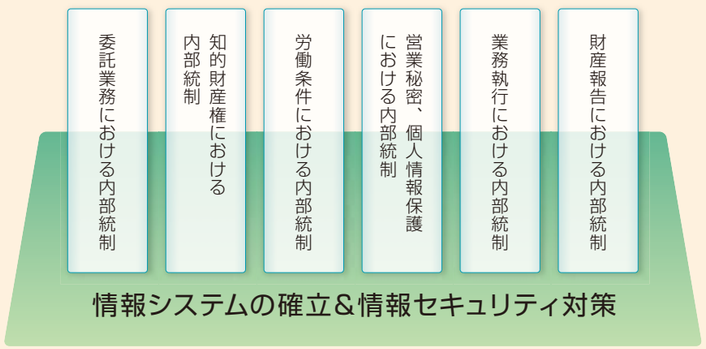
「J-SOX法(日本版SOX法)」の通称で呼ばれている「金融商品取引法」が2006年6月に成立しました。2008年度に具体的な管理策が評価されることや、「個人情報保護法」と同じく厳しい罰則があることから、上場企業やその上場企業と取引のある企業を中心として対応に追われています。この「J-SOX法」で求められているのが『内部統制』です。また、2006年5月に施行された「新会社法」でも『内部統制』が求められています。

『内部統制』とは、企業が存続するための仕組みであり、取り決めたルールや規程、法律を遵守したうえで企業活動を実施する仕組みです。企業はこの内部統制を適切に実施していることを説明できなくてはなりません。このとき、証拠・証跡として文書や記録が必要になります。つまり、文書・記録管理システムが適切に機能しているかどうかが大きなポイントになります。

『内部統制』の取組みの一つに情報セキュリティ対策があります。文書や記録の改ざんや情報漏えいなどが起こらないように対策を実施しておかないと、適切な管理を行っていると証明できません。

文書・記録管理システムの管理対象は電子化されたものだけでなく、ビジネスの各業務プロセスで利用されている紙文書も対象ですので、総合的に取り組む視点が重要なのです。

■「内部統制」の取組み



情報セキュリティ対策は「紙文書」の整備から

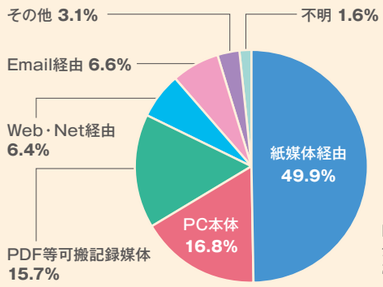
情報セキュリティの三つの要件として、「機密性」「完全性」「可用性」があります。情報漏えい事件・事故などのリスクに対して、これらの用件をバランスよく満たしてこそ万全の対策がなされていると評価されます。

多くのお客様の間では、情報セキュリティ対策として、ファイルサーバのアクセス権限設定や印刷機能の制限、暗号化、改ざん防止、タイムスタンプや電子署名などさまざまな電子文書に対する管理策を導入、または導入検討されていることでしょう。

しかし、個人情報漏えい事件・事故の漏えい経路の約半数は「紙文書」経由からという調査結果があります。また、「人為的なうっかりミス」による情報漏えい事件・事故の報道も後を絶ちません。情報漏えい事件・事故による信用の失墜は、ビジネスに深刻かつ甚大な影響をもたらします。

これらの事件・事故のほとんどは、「紙文書」の整備ができていれば防げるものが多いのです。

■ 2005年度
情報セキュリティインシデントに関する調査報告書



NPO 日本ネットワークセキュリティ協会
2006年7月31日

この他にもある「ありがちな問題」

管理規程やルールブックは作ったが、組織全体で守られず上手く運用できていない実態が、外部監査機関から指摘される事例が多く発生しています。また、運用に伴う実務作業が思ったより煩雑で時間がかかる、関係する組織の全員が協力してくれない、関心が低い、といったこともこの問題を深刻にしています。

具体的な対策「オープン・ファイリングシステム」

安心安全なオフィス環境作りのためには、「オープン・ファイリングシステム」の実践が必要です。ファイル管理表による紙情報資産の所在とルールの明確化により、的確な管理をすることができます。ファイル管理表を基に、明確になった情報資産に対するリスク分析と評価によりリスク対策を立案し、実施することが可能になります。このことによって、運用を継続し内部監査結果を経営者が評価できるようになるのです。その評価結果を基にさらなる改善を実施することで対策の定着が期待できます。

●導入効果

「オープン・ファイリングシステム」導入の効果には、次のものがあげられます。

- 説明責任を果たす
- 業務の継続的な遂行を支援する
- 個人情報保護法などの規制環境へ適応する

オープン・ファイリングシステムのサポートソフト画面

当社における取組み

キングジムでは、情報セキュリティ管理システム(ISMS)を2005年8月より導入し、国際規格ISO/IEC27001の認証取得を行い、適切に運用しています。

[登録番号]	JQA-IM0268
[組　織]	(株)キングジム営業本部　営業推進部(特注課を除く)
[所 在 地]	東京都千代田区東神田2-6-9　アルテビル東神田II　3階
[登録範囲]	①ファイリングコンサルティングサービスの提供および関連する商品の販売・関連業務(ファイリングソフトウェア開発、教育資料作成)の実施 ②顧客(社内含む)に対する商材の企画・提案・販売と生産関連業務(仕入・受発注・在庫管理)の実施
[登録日／改訂日]	2005年9月9日／2006年9月8日
[審査登録機関]	JQA(財団法人　日本品質保証機構)
[認証取得番号]	·ISO/IEC27001:2005

JQA-IM0268

環境保全は、常に重要な経営課題の一つです。

PEOPLE FILE... 03

佐藤 朋直
Sato Tomonao

環境推進室　室長

物流部門では、商品出荷終了後に残った「荷崩れ防止用ラップ」を圧縮し、再生プラスチック原料としてリサイクル化しています。環境負荷低減のために、このように各部門の全員が、自分たちの業務の中で出来ることを実践しています。

環境憲章の制定

私たちのかけがえのない地球の環境を守るために。

ファイルメーカーとして商品を供給する立場からキングジムグループは、「環境憲章※1」を制定し、社会の一員として責任ある取組みを行っています。

環境憲章

次世代のために、私たちは取り組みます。

For the next generation

環境理念

キングジムグループは商品を供給する立場から、
資源の有効活用を積極的に行い、
地球にやさしい商品の開発･生産につとめます。
キングジムグループは社会の責任ある一員として、自然との共生をめざし、
地球環境の保全につとめます。

行動指針

キングジムグループは自然との調和を経営の重要課題としてとらえ、
企業活動の全域で環境へのやさしさを優先して行動します。

- ●開発･設計の段階から環境･安全性を考慮し、環境保全に適合した省資源･環境配慮製品の提供につとめる。
- ●生産･販売･物流･廃棄などの各段階で、環境保全に貢献できる資材やシステムを積極的に取り入れる。
- ●環境に関する法規制を遵守するとともに、自主管理規制を設定し環境管理の向上につとめる。
- ●社内の環境教育を行い意識の向上をはかるとともに、環境保全活動を通して社会に貢献する。
- ●環境管理の組織、運営制度を整備し、環境改善施策を実行し自主管理の維持向上につとめる。
- ●環境に関する方針を必要に応じて開示し、環境保全につとめる。

※1 環境憲章
キングジム環境憲章は、1998年1月に制定されました。
2006年6月には、対象範囲をキングジムグループ全体としました。

社内全部門に環境憲章を掲示し、意識付けを行っています。

従業員教育を徹底し、社員一丸となって地球温暖化防止に　　取り組みます。

環境会計
事業活動における環境保全のためのコストとその活動により得られた効果を認識し、可能な限り定量的（貨幣単位または物量単位）に測定し伝達する仕組み。

環境会計

キングジムでは2006年度より、環境省　環境会計ガイドライン2005年版を参考にして環境会計の算出を行っています。2007年度は2006年度と比較すると、研究開発コストが増加しました。その主な理由としては、環境配慮商品に関する新製品の開発設計費用や工場における生産設備費用等が上げられます。

廃棄物については、金属・使用済みラップのプラスチック類・段ボール等が有価物として引き取られ、売却益をあげるといった経済効果がありました。

□ 環境保全コスト

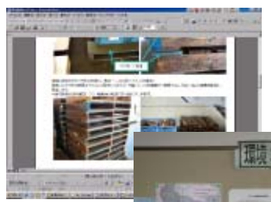
環境保全コスト		
分類	主な取組みの内容	費用額（千円）
①事業エリア内コスト 資源循環コスト	●廃棄物処理 ●リサイクル 等	15,837
②上・下流コスト	●カートリッジ回収 ●容器包装リサイクル法 再商品化委託料金	20,983
③管理活動コスト	●ISO14001維持　●従業員教育 ●カタログ制作、展示会出展 等	45,410
④研究開発コスト	●開発試作　●設備 等	99,480
⑤社会活動コスト	●寄付	300
合　計		182,011

従業員教育

企業の環境負荷低減のためには、従業員の意識や知識の向上が重要です。

毎年4月には、新人研修プログラムの一環として、新入社員向け環境教育を実施し、企業と環境との係わりなどを学んでいます。また、つくば工場では内部環境監査員に対して勉強会を開催しており、内部環境監査のレベルアップにつながっています。さらに、社内LANや食堂の掲示板などによって、従業員に環境に関する情報を発信しています。

新入社員への環境教育


社内LANによる
環境情報発信

社員食堂の掲示板コーナー

温暖化防止

●2007年度 実績

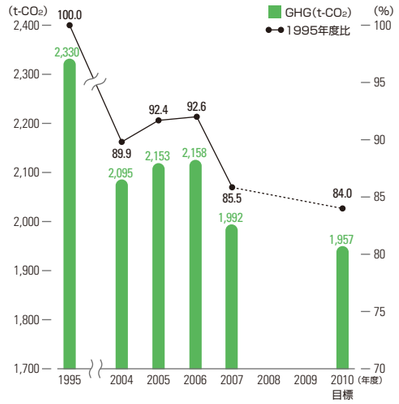
2007年度 GHG（温室効果ガス）排出量実績
1,992t-CO_2
（1995年度比　85.5%）

本年度のGHG排出量実績は、1,992t-CO_2となり、1995年比85.5%でした。

要因としては、つくば工場における省エネルギー空調設備導入による、電力使用量の大幅な削減があげられます。

また工場内では、照明の必要な場所/不必要な場所を考慮した消灯の徹底や蛍光灯自体を間引くことで、省エネルギーを実現しています。

□ GHG排出量推移



●具体的施策について

全社では昨年の施策を継承して、身の回りの省エネに焦点をあてた活動に取り組みました。

❶室内温度管理の徹底
冷房時と暖房時における、室温管理

❷照明管理の徹底
不要な照明の消灯や、早朝時・残業時は必要な箇所のみ点灯する

❸OA機器管理の徹底
会議や昼食時における、離席時のパソコンのディスプレイはスイッチOFF

❹アイドリングストップの徹底
営業車等の当社自動車は、駐停車時にアイドリングストップを実施する

❺エレベーター使用における効率化
階段を利用して昇降出来る階数については、できるだけ階段を利用する

夏期には、営業部門のオフィスではポスターを製作、掲示してノーネクタイ・軽装での業務を奨励しました。

冬期には、各部署に温度計を設置し、暖房時の室温計測を実施しました。（松戸地区）

今後も、社員個人の取組みと併せて、自主目標である〈2010年度のGHG排出削減目標：CO_2換算16%削減（1995年度比）〉の達成に向けて前進していきます。

製作ポスター

工場内倉庫：手前は、ロボットのみ稼動しており無人のため、常時消灯。

※3 チーム・マイナス6%
政府が進める地球温暖化防止のための国民運動。京都議定書による、温室効果ガス6%削減約束を達成することを目標としている。クール・ビズやウォーム・ビズもその一環。

環境負荷低減を目指し、各部門で様々な取組みを行っていま す。

環境マネジメントシステム

1999年3月、つくば工場において、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001を認証取得して以来、8年が経過しました。

日々の業務において、継続的改善が求められる中、つくば工場内では環境負荷低減に向けてあらゆる施策を実施しながら今日に至っています。

ISO14001 認証取得

●認証取得概要

事業者名‥株式会社キングジムつくば工場
所在地‥‥茨城県牛久市桂町2200番地1
登録範囲‥パイプ式ファイルの製造
登録日‥‥1999年3月31日
登録番号‥JQA-EM0396

ISO14001認証取得
JQA-EM0396 つくば工場

地域との共生:工場周辺を清掃する社員

つくば工場 2007年度 環境保全活動

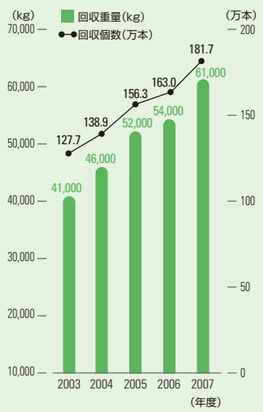
❶電力の削減
❷一般廃棄物の削減
❸産業廃棄物(シリカゲル・化学糊カスなど)の削減
❹地域との共生
❺環境教育の実施
❻環境に配慮した製品への働きかけ
❼安全で働き甲斐のある職場環境の確保

廃棄物対策

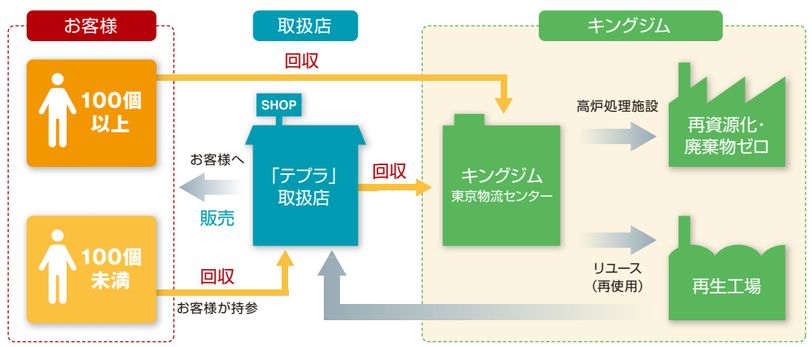
●「テプラ」使用済みテープカートリッジ回収

環境指向が高まる中、1998年6月に環境保全活動の一環として開始した、使用済みテープカートリッジの回収。過去においては、ゴミとして処分されていたカートリッジですが、再資源化を目指した取組みとして定着した結果、ゴミの減量化にも寄与しています。これからも地球環境保全のために、取り組んでいきます。

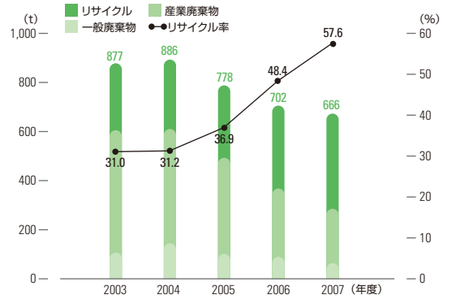
□ テープカートリッジ回収実績



□「テプラ」使用済みテープカートリッジ回収フロー



●廃棄物推移



※算出範囲:キングジム本社、国内工場及び物流センター

●製造部門での取組み

木製パレット廃材の削減

木製パレットは長期間使用しているうちに、破損や腐食が発生してしまいます。

つくば工場では「プラ木」と呼ばれる耐久性のある材料で、破損しやすいパレットの両端上下の4枚を修理しています。プラ木による修理をすれば、パレットの使用寿命を延ばせると同時に、修理用木材の廃棄量を削減する事が出来ます。

廃棄物削減量は2005年9月からの累計で、約240kgに相当します。(2007年6月現在)

プラ木により修理された木製パレット

梱包資材の削減

購入資材が入荷される際は通常、梱包材によって保護されています。荷崩れ防止用には、プラスチック製ラップが使用されていますが、役目を終えればゴミとなり、廃棄物の増加につながってしまいます。そこで、一部の資材にはエコバンドを採用し、ラップ使用量を削減しました。

梱包資材をエコバンドにて固定

●物流部門での取組み

梱包資材のリサイクル

商品搬送終了後に収集される荷崩れ防止用ラップは膨大な量になります。

収集されたラップは社内にて圧縮後、処理業者によって回収され、再生プラスチック原料としてリサイクルされます。

使用済みのラップ

圧縮後、リサイクルへ

マテリアルバランスを整理・把握し、環境配慮商品の開発や温暖化対策を推進していきます。

マテリアルフロー

キングジムでは、事業活動についてのマテリアルバランスを整理し、把握しています。事業活動の全体を捉えることが、環境配慮商品の開発や地球温暖化防止の推進に重要となります。環境負荷の低減につなげるためにも、継続して把握や分析を行っていきます。

2007年度　マテリアルバランス

INPUT

原材料

金属材料	3,667t	容器包装	37t
プラスチック材料	3,829t	その他	213t
紙材料	9,541t	完成品	2,925t
段ボール	1,890t		

電力	776万kWh
用紙	19t
燃料	4,159GJ

RECYCLE 回収量 61t → キングジムグループ

OUTPUT

廃棄物総量		温室効果ガス	輸送		総販売量
一般廃棄物	109t	3,295t-CO_2	使用燃料	17,552GJ	22,009t
産業廃棄物	228t		総輸送重量	38,672t	
リサイクル量	1,242t		総輸送距離	175万km	

化学物質管理

PRTR法※1指定化学物質のうち、キングジムで使用している物質は、トルエンとキシレンの2化学物質で、主に接着剤の成分として含有しているものです。過去より、各工場とも年間取扱量が1tに満たないため、届出の対象には至っていませんが、今年度は昨年度より取扱量を削減することが出来ました。引き続き、トルエン、キシレンの取扱量削減に向けて、研究を進めていきます。

トルエン

kg	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
つくば工場	640.4	693.0	704.0	680.9
松戸工場	71.0	90.0	77.0	65.3
Total	711.4	783.0	781.0	746.2

キシレン

kg	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
つくば工場	637.8	698.1	706.1	686.2
松戸工場	71.0	51.3	54.6	54.1
Total	708.8	749.4	760.7	740.3

算出期間:PRTR法に基づき、毎年4月～翌年3月で算出

また最近では、RoHS指令※2に代表されるように、化学物質情報開示の要求が増えています。
お問い合わせに対して、的確な回答ができるよう、化学物質データの蓄積および管理を行っています。

※1 PRTR法
(Pollutant Release and Transfer Register)
特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律

※2 RoHS指令
(Restriction of the use of certain Hazardous Substances in electrical and electronic equipment)
電機電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する指令

環境問題への取組み

キングジムでは、環境対策に関する理念・方針・行動指針を明確にし、課題に対し積極的な行動が取れるように、1997年8月、社長をトップとして環境対策委員会を発足し取り組んで参りました(現名称:環境委員会)。さらに、環境志向の高まりに対して、的確かつ迅速な対応を可能にするため、1998年4月、環境推進室を設置し、環境保全体制を確立しました。今後は、ISO14001に代表される環境マネジメントシステムの考え方に基づきながら、環境管理体制を構築し、積極的に環境保全活動に取り組んでいきます。

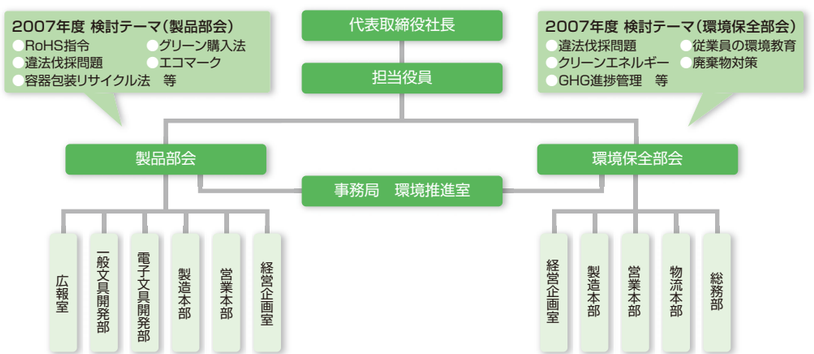
取り組み経緯

1991年	6月	〈エコロジープロジェクト〉発足
	8月	「保存ファイル」が、パイプ式ファイルとして初めてエコマーク認定商品となる
1992年	11月	日本野鳥の会へ協賛支援を実施
1993年	7月	WWFジャパン[(財)世界自然保護基金ジャパン]の法人会員となる
1996年	6月	グリーン購入ネットワーク(GPN)に参加、会員となる
	9月	分別廃棄可能な「キングファイル スーパードッチ」発売
1997年	8月	〈環境対策委員会〉発足
1998年	1月	キングジム「環境憲章」制定
	3月	再使用を考慮した「キングファイル スーパードッチ〈脱・着〉」発売
	4月	環境推進室 設置
	6月	環境保全活動スタート。主要テーマとして、 ●「テプラ」使用済みテープカートリッジの回収 ●オレフィン素材使用の促進
	8月	ISO14001認証取得に向け、つくば工場にて活動開始
1999年	3月	つくば工場 ISO14001 認証取得
	11月	WWFジャパンに協賛し、活動を支援
2000年	5月	LCAデータに基づいた環境ラベルタイプIIIの情報公開 「テプラ」PROテープカートリッジがエコマーク認定商品となる
	7月	社内における事務用品購入等のグリーン購入基準を作成し、〈グリーン購入〉を開始
2001年	1月	「テプラ」PROシリーズに鉛フリーはんだを順次導入
	5月	日本野鳥の会の法人会員となる
	8月	再生PPを100%使用した「再生透明ポケット」発売
	9月	廃ガス管から生まれた「キングファイル リサイクルPE」発売
2002年	3月	非木材紙を採用した「図面ファイルGB」発売
2003年	5月	再生PPを100%使用した「クリアーホルダーリサイクル」発売
2004年	1月	再生PPを100%使用した「GボックスPPリサイクル」発売
	5月	生分解性プラスチックを採用した「生分解ファイル」(受注生産品)発売
	7月	再生PPを100%使用した「クリアーファイル リサイクル ヒクタス±」発売
2005年	1月	クロムフリーの「キングファイル エコロジードッチ」発売
	8月	環境委員会に分科会(「製品部会」・「環境保全部会」)を設置
	9月	GHG排出削減目標設定
2006年	9月	CSR報告書発行
	10月	違法伐採問題に関する行動指針制定

環境推進体制

キングジムでは環境担当役員のもと、環境課題に積極的に取り組み、かつ迅速に対応するために、環境委員会(事務局 環境推進室)を開催しています。

環境問題はテーマが広範なため、①製品部会、②環境保全部会の2部会制にして、テーマ別に議論、検討を重ねています。



商品開発においては、企画段階から環境負荷の低減に取り組んでいます。

PEOPLE FILE... 04

植村 尚美
Uemura Naomi

開発本部　一般文具開発部　開発課

オフィス向けファイルの商品開発においては、設計段階でエコマークの認定や、グリーン購入法適合品となることを前提にしています。表紙、ポケット、綴じ具など、部材ごとの再生比率と、商品全体での再生比率をチェックし、仕様を検討していきます。

手にしている「キングファイル　エコロジードッチ」（2005年発売）の金属製パイプ式綴じ具は、表面処理における「完全クロムフリー化」を実現しています。

∴ オルタナティブテクノロジー〈代替技術〉Alternative Technology

従来の商品素材に替わって、環境への負荷が少なく、有害物質などを含まない新たな素材の研究・開発に取り組んでいます。鉛フリーはんだの導入や、生分解ファイルの商品化を実現し、環境型新素材の実用化の推進とその普及を目指しています。

●鉛フリーはんだの導入

生態系など環境への影響が問題視されている「鉛」の使用削減に向けて、ラベルライター「テプラ」では、実装部品において鉛フリーはんだの導入を行っています。

●金属表面処理の研究

「キングファイル」の金属製とじ具については、従来品と同等の品質を保持しつつ、環境負荷の少ない金属表面処理方法を採用しています。

クロムフリーについて

キングファイル エコロジードッチは環境負荷物質の低減を目指し、環境負荷が少ない代替技術により、とじ具の金属表面加工処理のクロムフリー化を実現いたしました。

※クロムおよびクロム化合物不使用（金属表面処理におけるクロムフリー）

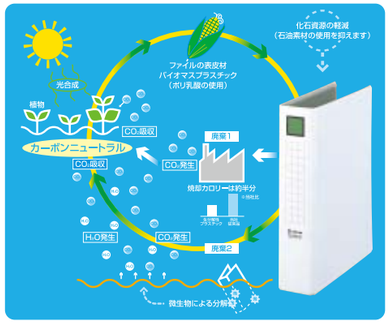
●表皮材にバイオマス※1 プラスチックを採用

キングジムでは業界に先駆けて、ファイルの表皮材にバイオマス素材のひとつである生分解性プラスチック（ポリ乳酸※2）を採用したファイルの商品化を実現しました。原油枯渇の対策となる代替効果（化石資源の保護）が期待できるほか、カーボンニュートラル※3の性質により、地球温暖化の原因のひとつである二酸化炭素の排出量も抑制できます。

●自然界で微生物により分解・同化され、焼却時の燃焼カロリーも約半減

廃棄時には表紙ととじ具が簡単に取り外せ、分別廃棄できます。表紙部分は自然界で微生物により水と二酸化炭素に分解され、自然に同化されます。また焼却の際の燃焼カロリーも当社従来品（PP）の約半分。製造から廃棄までのライフサイクルにわたって、環境負荷の軽減を実現しました。グリーンプラマーク※4認定。

□ 生分解ファイルの環境負荷軽減概念図



※1 バイオマス
生物資源（bio）の量（mass）を表す概念で、生物に由来する有機性資源のなかから、石油などの化石資源を除いたものを指します。太陽と水と植物がある限り、持続的に再生可能な資源として注目を集めています。バイオマスは2002年12月に閣議決定された「バイオマス・ニッポン総合戦略」で推進されています。

※2 ポリ乳酸
トウモロコシなどのでんぷんから得られる乳酸を原料とした、再生可能な植物由来のプラスチック。従来の石油系樹脂に替わる環境低負荷素材として期待されています。

※3 カーボンニュートラル
バイオマスは燃焼や微生物による分解で二酸化炭素を発生しますが、これは植物が成長過程で吸収した二酸化炭素を放出するもので、大気中の二酸化炭素量を増加させるものではないとされています。このように二酸化炭素の増減に影響を与えない性質をカーボンニュートラルと呼びます。

※4 グリーンプラマーク
使用中は通常のプラスチックと同じように使えて、使用後は自然界の微生物によって水と二酸化炭素に分解され、自然に還るプラスチックを使用した商品に付けられます。

登録番号 No.565
（株）キングジム
「表皮材に生分解性樹脂を使用」

「3R」の視点で、環境負荷を軽減した商品開発に取り組んで　います。

「リデュース」「リユース」「リサイクル」の3R

キングジムは3R「REDUCE（発生の抑制）·REUSE（再使用）·RECYCLE（再資源活用·再資源化）」の視点から、環境負荷を可能な限り軽減した製品仕様の決定および開発に取り組んでいます。

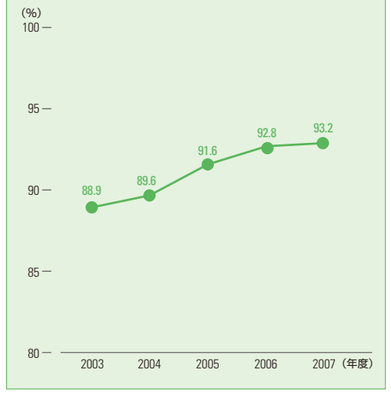
●「リデュース」「リユース」「リサイクル」

「資源採取」から始まり、「製造」「流通」「使用」「廃棄·リサイクル」に至るまで、環境負荷は商品のどのライフステージにおいても発生します。キングジムでは材料の選定や製造方法の検討、使いやすさや使い終わってからを考慮しながら製品仕様を決定していきます。その中で重要なのが「REDUCE（発生の抑制）·REUSE（再使用）·RECYCLE（再資源活用·再資源化）」の3R。この3つの視点を中心に、環境負荷を可能な限り軽減した製品の開発に取り組んでいます。

その結果、全商品中の約9割が自社の制定する環境マーク基準を満たした環境配慮商品です。

今後も環境配慮商品の普及に努力していきます。

□ 環境マーク商品比率



●リデュース REDUSE〈発生の抑制〉

ゴミを「減らす」「小さくする」「少なくする」ことを第一に考え、長期使用が可能な商品やつめ替え可能な商品などを企画·開発·設計し、廃棄物削減に取り組んでいます。

長期使用（ロングライフ）が可能なファイル

耐久性のある表紙でかつ背見出し紙の交換が可能な長期使用できるファイルです。

背見出し紙の交換

中身がつめかえ可能な商品

●「ピタ!ゴラス」カートリッジ

●JETテープカートリッジ

「ピタ!ゴラス」カートリッジ

「テプラ」PROテープ エコパック

個別包装を減らすことによってゴミを削減した環境配慮エコ仕様の簡易包装パックです。

電子文具「テプラ」のエコロジー設計

●テープカートリッジ ストッパー 一体構造

使用時にゴミになるたるみ防止のストッパーを廃止し、カートリッジケースに一体成型しました。これにより、部品点数を減らしゴミを減らす設計です。

●優れた耐久性

表示している文字が消えてしまったら、貼り直さなければなりません。PRO印刷技術による優れた耐久性のラベルは長期間その美しさを保ちます。

●ラベルのムダをなくす工夫

入力中や編集中にできあがりが液晶画面で確認できる「みえ²」機能と「プレビュー」機能により、試し刷りや失敗などのムダが出ないように配慮しています。

●ラベルの余白を少なくする工夫

印刷ヘッドとカッター間の距離を短くすることにより、不要な余白を減らすことができます。

「テプラ」PROでは独自の構造を採用し、約9mm（業界最小、当社従来機から約半減）を実現しています。

●リユース REUSE〈再使用〉

使い捨てではなく、何度も繰り返して使用することを考えて商品の開発·設計に取り組んでいます。

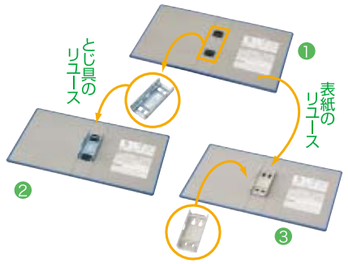
●キングファイル スーパードッチ〈脱·着〉Nのリユース

使用段階で簡単に部品を交換することができ、再使用が可能な環境配慮設計を行っています。

❶古くなった表紙からとじ具をはずします。

❷取り外したとじ具を「替え表紙」（別売）に取り付けて「再生キングファイル スーパー ドッチ〈脱·着〉N」として使用できます。

❸古くなった表紙に「保存とじ具」（別売）を取り付けて、「再生保存ファイル」として書類保存用にご使用いただけます。



●テプラPROテープカートリッジのリユース

キングジムでは、テプラ使用済みテープカートリッジの回収システムを構築し、運営しています。このシステムにて回収後、良品のPROテープカートリッジについては部品を再使用し、繰り返し使用する事ができる設計になっています。

テープカートリッジ　リユース（再使用）システムフロー

●リサイクル RECYCLE〈再資源活用 · 再資源化〉

製造段階では、製品部材に再生材を取り入れて、再資源の活用を積極的に行っています。また廃棄段階では、分別廃棄が容易にできるよう、再資源化が可能な設計に取り組んでおり、廃棄物の削減とリサイクルの促進に努めています。

●キングファイル スーパードッチ〈脱·着〉N

ファイルの表紙芯材は、古紙パルプ配合率100%の板紙が使用されています。また、商品に付属する紙製部品についても、再生紙を使用しています。

板紙部分

●プラスチック部材への刻印

廃棄時に素材ごとの分別廃棄·リサイクル促進に役立つようプラスチック部材には、素材の刻印を行っています。

●テプラテープカートリッジの再資源化

全国から回収後、リユースできないテープカートリッジは、製鉄原料として再資源化されます。再資源化を行うことにより、最終的には「廃棄物ゼロ」を実現しています。

全国から回収された使用済みテープカートリッジ

キングジムの商品は、設計だけでなく素材についても環境に　　こだわっています。

政府の基本方針
2005年に英国で開催されたG8サミットの結果、日本政府は、「違法に伐採された木材は使用しない」という基本的な考え方に基づき、政府調達の対象を合法性、持続可能性が証明された木材、木材製品とする措置を導入することとした。

違法伐採問題に関する行動指針

日本政府は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号:以下、グリーン購入法）に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針を改定することにより、合法性、持続可能性が証明された木材・木材製品を調達の対象として推進を図ることとなりました。

この事を踏まえ、キングジムグループでは、グリーン購入法適合製品の原材料となる木材製品（紙製品）についての違法伐採問題に関する行動指針を制定し、当社HPにて公表しています。

キングジムグループ　違法伐採に関する行動指針

❶キングジムグループは、違法な森林伐採に反対を表明します。
❷キングジムグループは、合法性の証明された木材製品（紙製品）の調達促進に努力します。
❸製品の原材料となる木材製品（紙製品）の調達に際し、キングジムグループは原材料に関する分別管理や書類の管理等、合法性についての確認体制整備に努力します。

2006年10月制定

環境配慮素材への取組み

環境のことを考えて設計された商品は、素材へのこだわりがあります。キングジムは、素材一つひとつについて、これからもこだわりつづけます。

●ALL 再生材

クリアーファイル リサイクル

表紙材、ポケット、台紙、背見出し紙など、どの部材も、再生材100%からできています。化石資源の枯渇防止、リサイクル材の有効活用により実現した、究極のエコマーク商品※1。

●単一素材

キングファイル エコロジードッチ

表紙材は、PP樹脂の単一素材。焼却処理をした場合、塩化水素ガスは発生しません。中心層は再生発泡PPを使用した三層構造。軽量化と剛性を両立、ロングライフな素材。

●非木材紙

図面ファイルGB

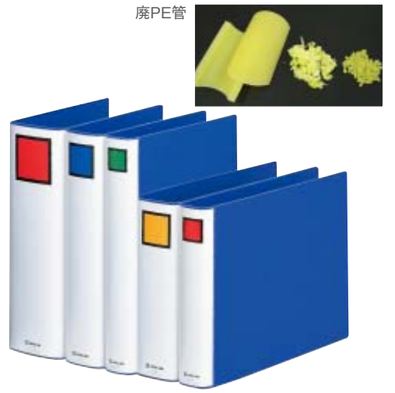
木材パルプの代替として、また未利用資源の有効活用としても注目を集める非木材紙。サトウキビの絞りカスである「バガス」を原料にした図面ファイルGBは、ツリーフリーマーク認定商品※2。

サトウキビ畑

●ガス管リサイクル

キングファイル リサイクルPE

ガス導管の埋設工事で発生する廃ガス管を集積。集積されたポリエチレン（PE）管は、破砕、フレーク、そしてペレットとなり、表紙材の原料になります。廃ガス管から生まれた「リサイクルPE」。



※1 エコマーク
ライフサイクル全体を考慮して環境保全に資する商品を認定し、表示する制度。商品の類型ごとに認定基準が設定されている。
（財）日本環境協会が運営。

※2 ツリーフリーマーク
グリーン・マーケティング協会の定義する「非木材紙」に付けられるマーク。
木材資源の過剰な消費を抑えることによる森林保全の推進や農産廃棄物等の未利用資源の有効活用による廃棄物の減量とリサイクルの促進を目的としている。

PEOPLE FILE... 05

土門 雅子
Domon Masako

人事部人事課

給与データや、雇用保険と社会保険関係の業務、また、海外駐在員の支援業務などを行っています。2004年9月から2006年3月まで育児休業を取り、同じ職場に復帰しました。自分の経験を生かし、女性の働きやすい環境を実現していきたいと思います。

⁘ 人材の登用と活用

□ 従業員の状況／従業員数

年度		2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
キングジム単体	男性	446名	431名	424名	421名	417名
	女性	173名	144名	139名	136名	125名
グループ全体		**1,039名**	**1,034名**	**1,092名**	**1,091名**	**1,082名**

●新人事制度導入

キングジムでは人事制度を見直し、2006年6月21日より新人事制度を導入しました。

新しい人事制度は従業員の能力開発を促進し、公正な評価により公正な処遇を行うことで従業員のチャレンジ意欲を高め、生きがい、働きがいそして自己実現と会社の業績向上を目指すことを目的としています。特に評価制度については、会社や組織の業績と連動した個人目標の設定を行うこと、また、評価結果のフィードバックを本人に行い今後の育成につなげていくことが重要なポイントとなっています。

●定年再雇用制度

キングジムの定年退職者に対する再雇用制度は、定年退職の際に継続勤務を希望する従業員全員に対し、嘱託社員またはパートタイマーとして最長65歳まで勤務が続けられる制度です。この制度を利用した従業員は、定年後も長年の経験と能力を活かし各職場で活躍しています。

また、定年退職に際し再雇用を希望しない場合は、再就職のための職業能力開発を目的とする自己啓発援助として、学習などに対する費用の50%を会社が援助する制度の利用ができます。

●障がい者雇用

キングジムグループは、障がい者の雇用は社会的責任と考え、継続的に障がい者雇用に取り組んでいます。キングジムの2007年度の障がい者の雇用率は1.87%で、法定雇用率を上回っています。当社では障がいを持つ従業員を特定の職場に集めて勤務するのではなく、健常者と同じ職場で業務に従事しています。今後も障がい者の雇用を促進するため、職域の拡大を進める予定です。

□ 障がい者雇用率

年度	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
法定雇用率	1.80%	1.80%	1.80%	1.80%	1.80%
当社雇用率	1.79%	1.60%	1.82%	1.82%	1.87%
民間企業実雇用率	1.48%	1.46%	1.49%	1.52%	

※民間企業実雇用率:厚生労働省

⁘ 従業員のエンプロイアビリティ

●能力開発制度

キングジムの能力開発制度は、従業員一人ひとりの多様性と自発的な取組みを尊重しています。能力開発制度の内容は、1. 基本教育、2. 戦略課題教育、3. 自己啓発支援、4. 業務教育研修、5. OJT教育 の5項目で構成されています。

この他、社命によらず従業員が自らの判断で、専門学校･講習会･研修会などに出席する場合、費用の50%を会社が負担する自己啓発援助制度があります。学習内容については、現在あるいは将来の業務に関連があることが要件となりますが、自発的な取組みについては積極的に支援しています。

□ 障がい者雇用率

従業員が安心して働ける職場づくりを行っています。

改正男女雇用機会均等法

改正男女雇用機会均等法は、男女双方に対する差別的取り扱いの禁止、間接差別禁止規定の新設、妊娠・出産等を理由とする不利益取り扱いの禁止、セクシュアルハラスメントに関する措置の義務化など、大幅な見直しが行われ、2007年4月1日より施行された。人事労務管理や労働者の働き方・意識の持ち方などに大きな変化を求める内容となっている。

※改正男女雇用機会均等法＝「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保に関する法律及び労働基準法の一部を改正する法律」

人権の配慮

●人権の尊重

キングジムグループでは、従業員一人ひとりの人権を尊重し、性別、障がいの有無などによる差別的な行動の防止を図っています。コンプライアンスプログラムにおいて、「基本的人権の尊重について」の項目を掲げ、不当な差別的取り扱いや他人の尊厳を損なうような行為は、社内、社外、上司、部下を問わず、行ってはならないと明確に定められています。

●セクハラ防止への取組み

ハラスメント禁止は、コンプライアンスプログラムや従業員就業規則に明確に定められており、従来から取組みを進めています。2007年4月よりキングジムでは「セクシュアルハラスメントの防止に関する細則」を制定するとともに、相談窓口を設置しました。制定された細則では、職場におけるセクシュアルハラスメント対策として、適切な措置を講じてセクハラの発生を防止し、良好な職場環境の維持に努めることを目的としています。この細則で定める内容は、以下のとおりです。

■禁止行為を明示する
■人事部に相談窓口を設置する
■対応措置を明示する
■相談者・事実関係の確認に協力した方等のプライバシーを保護する
■相談したこと、事実関係の確認に協力したこと等を理由として不利益な取り扱いをしない

セクシュアルハラスメント相談窓口は人事部に設置されていますが、これとは別にコンプライアンスプログラムに基く担当弁護士へのスピークアウト制度も併設しています。

働きやすい職場環境の実現

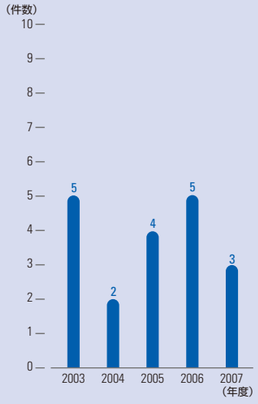
●自己申告制度

キングジムでは、会社や職場での課題や制度の改正、希望する職務や各個人の自己実現への挑戦につながるよう、キングジムおよび国内のグループ会社内の全員を対象に意見を聴く自己申告制度を実施しています。2007年度より対象者を、嘱託社員、パートタイマーおよび派遣社員（国内のグループ会社を含む）に拡大し、職場の雰囲気や人間関係に関することや、要望・問題点・提案などについて自由な意見を多くの従業員から聴けるように改定しました。

●安全衛生

キングジムグループでは、全社安全衛生委員会を中心に、事業所において従業員の労働災害の防止を図り、健康を守るため安全衛生管理の活動を推進しています。今後も、安全な労働環境の確保は継続して努め、労働災害ゼロを目指し活動します。

□ 休業に至る労働災害発生件数



※国内子会社・海外子会社を含む

いきいきと働ける職場づくり

●育児支援、介護支援

キングジムでは、従業員が出産・育児や介護をしながら継続して勤務できるよう支援する制度を導入しています。育児休業の期間は原則1年ですが、保育所に入所を希望していても入所できない場合には、1年6ヶ月まで休業期間を延長できます。

□ 育児・介護支援制度

制度	内容
産前産後休暇	産前6週間、産後8週間（多胎妊娠の場合は、産前14週間、産後8週間）
特別休暇	配偶者の出産のための特別休暇　4日付与
子の看護休暇	就学前の子の負傷・疾病による看護のための休暇 年間5日まで
育児休業	出産後子供が満1歳に達する日まで育児のための休業 最長1年6ヶ月まで延長可能
介護休業	要介護家族1名につき通算93日までの休業
介護短時間勤務	1日の労働時間を2時間短縮可能

□ 育児休業取得率（女性）

（注）国内子会社を含む

年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
休業取得率	100%	（該当者なし）	75%	100%	100%

●企業年金制度の改定

キングジムは、2013年の適格年金制度廃止に先立ち、現行の企業年金制度を改定し新たに確定給付企業年金制度（規約型）を2007年1月より導入いたしました。新しい企業年金制度では、ポイント制の導入や給付の水準などの見直しを行い、従業員がわかりやすい制度とするとともに、将来にわたり制度の健全化が維持できるよう改定しました。

●休暇制度

キングジムには特別休暇として、メモリアル休暇制度があります。この休暇は、年に1日、従業員の誕生日または結婚記念日に休暇を取得できる制度です。個人的な記念日に休暇が取れるため、従業員には喜ばれており、休暇の取得率も高くなっています。また、勤続15年および30年の従業員には、永年勤続旅行休暇制度があり、旅行費用の援助と特別休暇の取得の特典が与えられます。休暇日数は、勤続15年は3日、勤続30年は6日となっています。

また、従業員が安心して勤務できる制度として、積立有給休暇制度があり、失効する年次有給休暇を積立て、長期の傷病などの際に最長40日間の有給休暇を年次有給休暇とは別に取得できるしくみがあります。

環境推進室　高橋由希子
育児休業を終え2007年6月より復職。

TOPICS

女性が活躍しやすい風土と機会を拡大し、業績達成意欲のある人材を

「女性活性化調査会」メンバーの、山田奈弓・青山有希・今田ひろみ・内藤雅子の4名の皆さんにお話を伺いました。

多様な人材を生かす人事戦略として、米国を中心に「ダイバーシティ（多様性）」が注目され、今日では国内でもダイバーシティを人事戦略として取り組む企業がでてきています。海外では、性別、年齢、人種、国籍、宗教など異なる背景や価値観を持つ人が共に働く多様性が成果につながるという考え方が主流です。

日本でダイバーシティを取り上げる場合は、主に性別、年齢、障がい者などを対象として取組み始めています。また、2007年4月より男女雇用機会均等法が改正、施行され、性別による差別禁止の範囲拡大やセクシュアルハラスメント対策が義務化されるなど、性別による差別のない職場環境の整備が求められています。こうした状況の中で、キングジムでは2006年9月よりCSR委員会に「女性活性化調査会」を女性5名、男性2名の7名によるメンバー構成で設置しました。

調査会では、女性従業員に対する全社各部門の職場風土、職場環境や女性従業員のモチベーション状況などを調査すると共に、現状の各種制度に対する意見を収集するなど、現状の実態や課題を抽出する目的で調査活動を行いました。

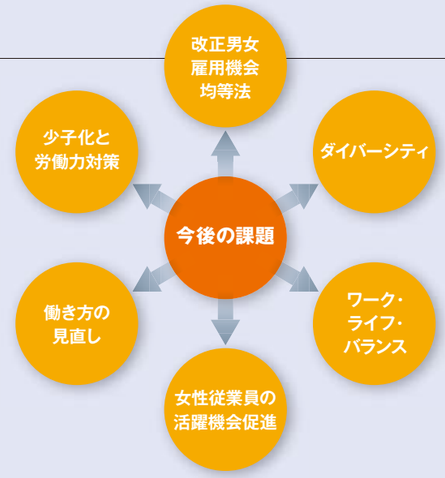
具体的な活動内容としては、第一段階として本社各部門の女性従業員に対するヒアリング調査、第二段階では全国の営業拠点、製造拠点に従事する女性従業員に対するアンケート調査を行いました。また、同時に男性管理職を対象とした性差別に対するアンケートによる意識調査も行いました。この調査の結果、女性従業員の働く意欲度合いや職場での性差別的風土、管理職の女性従業員に対する期待度が十分でない、などの調査結果を得られました。

この活動は、女性従業員を対象にした調査でしたが、こうした社内での活動により、女性従業員を含め、全従業員の意識が少しずつ変化してきました。

今後の対応

女性従業員を含め全社に対して、今後はダイバーシティやワーク・ライフ・バランスへの取組みを人事部と共に、新たなプロジェクトチームを編成し、検討していきます。

特に、女性活躍機会の推進に関しては、意欲ある女性が能力を発揮できるように支援すること、職域の拡大を図り男女の機会均等を目指すこと、女性リーダーに対する育成研修を促進することなどを取り上げ、そのために人事面の施策や職場風土の改革、従業員意識の改革を検討・推進していく予定です。



女性従業員の生の意見をヒアリング

女性活性化調査会メンバーの女性が、本社地区に在籍する女性一人ひとりの意見と現状の考え方を聴取しました。通常では仕事上の接点がなく、ほとんど話をしたことがない人を含めて生な話を聞き、面接者としての女性メンバーにとっても貴重な体験でした。以下に、女性メンバーの活動を通した感想などを紹介します。

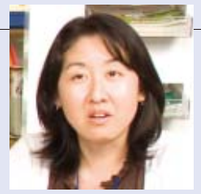
女性社員の意識について

「自部署と他の部署ではさまざまな面で違いがあることがわかりました。ヒアリングでは女性社員の仕事上の悩みを聞くこともあり、話を聞くことによって、これまで以上のコミュニケーションをとることができた。このようなコミュニケーションの輪を広げる事も重要なことだと思います」

「調査会の活動を行ってみて、女性の意識にもかなり違いがあることが分かりました。現状にある程度満足している方もいましたが、逆に前向きな考えを持っていて、将来こうなりたい、会社に貢献したい、なるべく長く勤めたい、こういう仕事を将来やってみたいなど、夢を持っている人もいました」

「グループ転換に対する考えについても、さまざまで、グループ間の違いを大きく感じている人もいました。これまでに経験がないため、転換した後の仕事に、自信がなく不安に感じている人がいるということも分かりました。」

「今回の対象は本社だけで工場や各支店の人の意見を聞くことができませんでしたが、違う意見や意識の人もいるのではないかと思います。今後の活動ではこうした方々の意見も聞くチャンスがあればと思います」



管理職に対して

「管理職に対するアンケート調査も行いましたが、管理職の皆さんの意識にも差がありました。そうした結果を反映し、今後の活動につなげてもらいたいと思います」

「職場環境は、管理職の考え方によって従業員の意識に差が出ます。女性社員と合わせて管理職の方の意識改革や会社風土の改革についても取り組んでいく必要があると感じます」

メンバーとして感じたこと

「メンバーとして選ばれて、女性社員の意見を聞く立場になったことによって、女性の活性化に対しどのように取り組むべきかなど、これまで考えもしなかったことも考えるようになりました」

「会社にとって、女性社員がどのように活性化していけばよいのか、自分の立場でどのようなことができるのかなど、前向きに考えるようになりました」

「今回の活動によって、女性が積極的に参画し取り組んでいくことによって、意識が前向きに変わっていくように思います」

「調査会の活動だけに終わらず、この結果を生かして今後の活動に生かしてもらえればと思います」

自社の蓄積を生かした社会貢献活動を行っています。

「総合的な学習の時間」とは

「総合的な学習の時間」は、小学校、中学校、高等学校などで平成12年から段階的に始められた、教科横断的な課題学習を行う時間です。

各学校は、地域や学校、児童の実態等に応じて、横断的・総合的な学習や児童の興味・関心等に基づく学習など、創意工夫を生かした教育活動を行うものとされています。

点字「テプラ」を活用した、点字に触れる出張授業を行いました。

●子どもたちに点字を体験・学習する出張授業を実施

キングジムでは、自社製品である点字「テプラ」を活用した、点字体験授業を通して、「福祉教育」をサポートする取組みを行っています。近年、点字学習は小学校の国語教科書に組み込まれ、その応用として点字をさらに深く学習するために、実際に街で点字を探しに出掛けたり、目隠しをして盲導犬と歩行するなどの授業が数多く展開されています。

また、子ども向け検索サイトで「点字」のワードが上位であることからも、子どもたち自身が興味を持ち、積極的に点字を学習していることが見受けられます。

2007年3月に、東京都武蔵野市の武蔵野市立井之頭小学校の6年生を対象に、点字「テプラ」を活用した、点字を体験・学習する出張授業を実施いたしました。

当日は、「総合的な学習の時間」を活用し、小学校6年生（2クラス）を対象に授業を行いました。授業内容は、点字のしくみを説明し、点字が利用されている場所の紹介事例を挙げながら、子どもたちにも日常生活の中で点字を見たことのある場面を発言させるなどのコミュニケーションをとりました。点字「テプラ」の使用方法を説明後、グループに一台ずつ点字「テプラ」を用意し、各自で点字名前ラベルを作成しました。子どもたちからは、「自分の名前を点字で見ることは初めてで、おもしろい。」などと感想が聞かれ、グループ内で点字ラベルの見せ合いをし、3時間の授業内に全員分の点字名前ラベルが完成しました。

出張授業により、子どもたちが点字を学ぶ上で、点字初心者でも簡単に点字翻訳できる点字「テプラ」を活用し、点字をより身近に感じてもらうことをねらいとしています。また、点字に触れることで、子どもたちに点字について意識を向けさせ、目の不自由な方を含む体の不自由な人々の気持ちを想像したり、理解を深められる機会になってほしいと考えています。

●点字「テプラ」とは

この製品は、点字の知識がない方でも、「自動点訳機能」によって、ワープロ入力をするように、簡単に点字ラベルを作成することができます。また、印刷文字と点字の両方を、一枚のラベルで表示することができるため、貼る場所を間違えたり、上下逆さまに貼ってしまうミスを事前に防ぐことが可能です。点字ラベルに印刷文字を同時に表示すれば、健常者も点字表示の存在に注目し、目の不自由な方と健常者共に分け隔てなく活用することができます。

ここ数年で、社会的にも福祉に対する人々の意識レベルは、高まっています。実際に日常の様々な場面で、障がいを持つ方に対する配慮がされており、例えば、目の不自由な人々のために駅に点字表示や、点字ブロックが設置されていることも一つの表れです。また、身近なところでは、ビールやお酒の缶に点字表示がしてあることや、街の公衆電話に点字表示があることも同様です。

しかし、点字は一つの文字文化であるため、学習しなければ読むことも書くこともできません。私たち一人ひとりが折に触れ点字に興味を持つことは、点字によるサポートを拡大し、視覚障がい者と共に生きる社会を創る上で必要なことだと言えるでしょう。今後もこのような活動プログラムの提供を通じて、子どもたちの教育をサポートする活動を推進していきます。

点字「テプラ」は、2005年5月に発売し、同年に日経優秀製品・サービス賞の最優秀賞を受賞しました。百貨店、薬局、ホテルなど、あらゆる方面のお客様にご活用いただいております。

教育・スポーツ支援

教育支援活動として、高円宮杯全日本中学校英語弁論大会に2004年より協賛企業として支援を続けています。この弁論大会は、「国際性豊かな青少年を育てるために、国際語である英語を熟達させるとともに、広くその普及を図り、日本文化の発展ならびに国際親善に寄与すること」を目的としており、当社としてもその趣旨に賛同し支援を続けています。

また、スポーツ支援活動の一環としては、2002年より全日本テニス選手権大会に協賛企業として参加しています。

全日本テニス選手権大会の協賛

インターンシップ

2003年以降、大学生の夏休み期間を利用してインターンシップを継続的に受け入れています。2006年度は例年通り8月21日から2週間にわたり、4名の大学生の方にそれぞれ人事部・広報室・営業本部に分かれて就業体験をしていただきました。人事部では保険給付手続きの社員向けQ&A作成、広報室では新製品のニュースリリース発行の準備など、営業本部ではデータ集計や展示会の準備などをそれぞれ担当していただきました。当社では、企業の実務を学生の方が実際に体験することで職業観や就業意識を高め、実際の就職活動に役立てることを目的としたインターンシップの受け入れを積極的に推進しています。

2006年度のインターンシップ参加の皆さん

国際社会とともに

キングジムでは、1996年にインドネシア・スラバヤに当社にとって初めての海外工場（P.T.KING JIM INDONESIA）を設立して以来、東南アジア・中国地域中心に1990年代後半より生産および販売拠点を設けるなど積極的に海外への事業展開をしています。2007年4月にはベトナム・ビンズン省に事務用ファイルの生産子会社としてKING JIM（VIETNAM）Co.,Ltd.を設立し、本格稼動を目指しています。特に海外工場の設立は多数の従業員採用を必要とすることから、現地の雇用創出にも大きく寄与できるものと考えています。このように国際社会とのかかわりが十数年前までとは比較にならないほど大きくなってきたことを背景として2004年に制定したコンプライアンスプログラムでも、現地法令を遵守することはもちろん現地の文化や慣習を尊重することを明記するなど国際社会と協調していくことに配慮をしています。

マレーシアにある生産工場・KING JIM（MALAYSIA）SDN.BHD.では、マレーシア国内の身体障がい者を支援しているグループからの身体障がい者の職業訓練支援活動への協力要請を受け、その活動趣旨に賛同し、支援グループに生産量の一部を委託するという形で2006年から継続的に発注をしています。まだこの活動は始まったばかりですが、少しでも身体障がい者の方々の社会復帰に役立つよう、積極的に協力しています。

KING JIM（MALAYSIA）SDN.BHD.

経営理念

独創的な商品を開発し、
新たな文化の創造をもって社会に貢献する

行動指針

見つめよう市場　見なおそう慣行　見つけよう新発想

顧客に対して

商品およびサービスは、十分な顧客満足を果たさなければならない。
新商品開発は、市場開拓型の独創的な企画を追求しなければならない。
その品質は顧客の求める水準に維持され、かつ適正な価格でなければならない。

社員に対して

社員の個性を尊重した能力開発とともに、自由闊達な提案や意見具申ができるなど、
能力を生かせる職場環境を保たなければならない。
待遇は能力と実績に応じ、公正かつ適正なものでなければならない。

株主に対して

常に顧客の信頼と理解を得られるよう、情報を積極的に開示しなければならない。
企業価値の増大と株主への利益還元に努めなければならない。
コーポレートガバナンスを強化し、公正かつ透明性の高い経営を行わなければならない。

社会に対して

商品は、文化の向上に貢献できるものでなければならない。
社内のコンプライアンス体制を整備し、
社会の一員としての意識とモラルを持たなければならない。
商品と企業活動を通して、常に環境と資源の保護に努めなければならない。

●経営理念の浸透

2003年1月に改定された経営理念と行動指針は、すぐに各事業所に掲示されましたが、それに続いて2003年2月には正社員・パート社員（短期を除く）・国内子会社社員に対して経営理念・行動指針が印刷された携帯用カードを配布いたしました。それ以後入社した社員全員にも同様に配布しています。

∴ 取締役会・監査役の実効性の強化

キングジムでは、業務遂行の責任と権限を明確にし、取締役の監視・監督機能と執行機能を分けることを狙いとして、執行役員制度を導入し意思決定のスピード化を図っています。また、経営判断の客観性を確保するため、社外取締役制度を導入しています。

取締役会は月1回開催され、定例の取締役会の中間には、変化への迅速な対応をすべく常務会を開催し、詳細な議論を行えるようにしています。

監査の実効性を強化するため、キングジムでは、社長直轄の監査室が、各部門・子会社の業務における内部監査を適時行っており、その結果はすべて、監査役に報告される仕組みとなっています。ISO認証資格を得ている情報セキュリティ、環境マネジメントについては、ISO指定の内部監査を行っています。

∴ 自由・公正・透明な取引・競争

キングジムグループは、自由・公正・透明な取引を、企業活動の基本としています。

購買関連部門では定期的に下請法など購買に関するセミナーを担当者が受けており、販売部門では独占禁止法、景品表示法に関するマニュアルを作成し担当部門に配布するなどし、社内周知を図っています。

∴ J-SOX

キングジムは、2009年6月期から、金融商品取引法に基づく「日本版SOX法」への対応が求められることになります。現在、万全の実施に向けて準備を進めています。

金融商品取引法の定めにより、上場会社は、内部統制報告書の提出が求められます。当社の場合は、上記の通り、2009年6月期（2008年6月21日から始まる事業年度）に適用されます。

当社は、関連子会社を含めたキングジムグループとして、財務報告に係わる信頼性確保を企業経営の重要課題として位置づけ、キングジムグループに携わるすべてのものが積極的に取り組んでいます。具体的には、経営者を推進委員長とした特別プロジェクトチームを社内に設置し、内部統制に対する理解度向上を図るとともに、キングジムグループ内に有効な内部統制環境を整備し、目的を達成するための体系的な運用手続を構築中です。

内部統制は、一時的な制度ではなく、毎年繰り返される恒久的なものですので、次年度以降の内部統制環境維持を視野に入れた活動を行っています。

社会的責任を果たす企業として、一人ひとりが行動しています。

CSR委員会

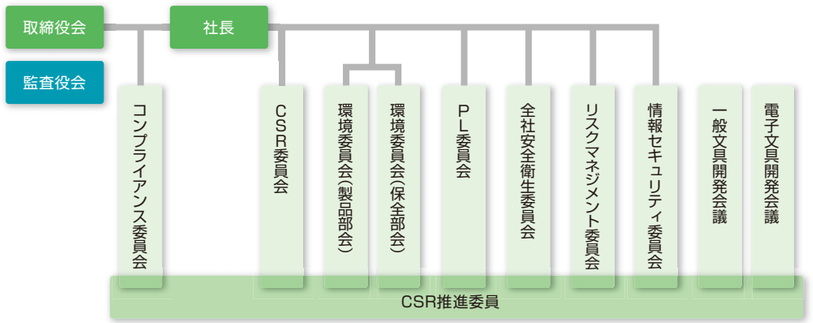
CSRマネジメント体制の確立

キングジムでは、すでに行動指針で「顧客に対して」、「社員に対して」、「株主に対して」「社会に対して」と各ステークホルダーに対する責任と果たすべき役割を明確にしており、各部門や社員がそれぞれCSR的な活動に取り組んできました。

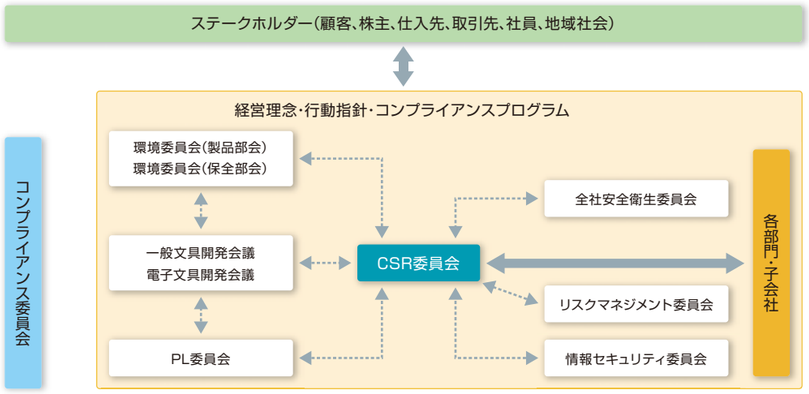
近年、企業不祥事の頻発や地球環境の持続可能性への懸念を背景としたCSRへの関心が高まってきたのを機に、これまでの当社のCSR的活動を社会·環境·経済の各側面から見つめ直し、これをさらに強力に推し進めるために「CSR推進チーム」を2005年12月に立ち上げ、各CSR項目を社内評価したうえでCSRマネジメント体制の構築を検討してきました。

こうした検討の結果、2006年8月より新たに部門横断的な組織として「CSR委員会」が発足しました。各専門委員会の事務局やお客様の窓口となるCS部·広報室のメンバーを推進委員とし、CSR委員会は年間6回開催し、CSRマネジメント体制の中核としてさまざまなCSR課題に対する方針や活動状況のチェック、提言を行っています。このような活動を通じて社会からの信頼をさらに向上させ、企業価値や各ステークホルダー満足度の向上·さまざまな経営リスクの軽減などに結び付けていきたいと考えています。

CSR推進組織



CSR委員会と各専門委員会との連携



コンプライアンス体制の確立

キングジムは、経営理念、行動指針、並びに最上位規程として位置付けられたコンプライアンスプログラムにより、役員および従業員が自らを律し、法令遵守はもとより、企業倫理の実践に努めています。また、コンプライアンス統括責任者である管理本部長をトップとし、常務以上の取締役と顧問弁護士で構成されるコンプライアンス委員会を設置しています。万一、コンプライアンス上疑義ある行為が行われ、また行われようとすることに気付いた者は、内部通報に関する窓口として設置されたスピークアウト制度により、社外の顧問弁護士に通報することができる体制となっています。通報者の正当な行為は、従業員就業規則によって保護され、人事上不利益な取扱を受けません。

監査役は、キングジムグループのコンプライアンスの全状況を監査しています。

新入社員は、新人研修の過程でコンプライアンス教育を受け、全社的にコンプライアンス遵守精神を醸成する体制をとっています。

コンプライアンスプログラム

私たちキングジムグループのすべての企業行動は、コンプライアンスに根付いたものでなければならない。

- ●私たちキングジムグループの一員は、企業倫理や法律に反した行動をとりません。万一、企業倫理や法律に反する行為、または疑わしい行動を知った場合は、コンプライアンスの体制に則って、適切な対応をとります。
- ●私たちキングジムグループの一員は、合法的でかつ清廉な行動をとります。
- ●私たちキングジムグループの一員は、コンプライアンスの精神に反する不当な利益追求を行いません。

コンプライアンスの指針

●環境の保全
私たちキングジムグループの一員は、環境配慮活動に積極的に取り組み、地球規模での環境負荷の軽減に努めます。

●贈収賄などの禁止
私たちキングジムグループの一員は、社外とのクリーンな関係を保ちつづけ、贈収賄など、キングジムブランドを汚す行為は行いません。

●良好な国際取引関係の形成
私たちキングジムグループの一員は、海外との取引にあたっては、関係法令を遵守すると共に、その文化や慣習を尊重し、良好な国際取引関係を形成します。

●反社会的勢力との対決
私たちキングジムグループの一員は、暴力団などの反社会的勢力·団体とは、一切の関わりを持ちません。また、不当な要求には一切応じません。

●独占禁止法の遵守
私たちキングジムグループの一員は、独占禁止法やその関係法令(景表法、下請法等)を遵守し、公正で、自由かつ透明な競争を行います。

●知的財産の尊重
私たちキングジムグループの一員は、キングジムグループの知的財産権を尊重すると共に、他人の権利を尊重します。

●不正競争の防止
私たちキングジムグループの一員は、不正競争防止法を遵守します。また、その精神に則り、オリジナリティーを尊重した商品開発を心がけると共に、常に業界のトップブランドであり続けます。

●基本的人権の尊重
私たちキングジムグループの一員は、基本的人権を擁護し、人を人として尊重すると共に、個人の尊厳を傷つけるような行為は行いません。

●労働関係法令の遵守
私たちキングジムグループの一員は、労働関係法令を遵守し、快適で安全な労働環境の維持·向上に努めます。

●ハラスメントの禁止
私たちキングジムグループの一員は、いかなるハラスメントも行いません。

●インサイダー取引の禁止
私たちキングジムグループの一員は、インサイダー取引を行いません。

●秘密情報の適切管理
私たちキングジムグループの一員は、営業秘密、ノウハウ、個人情報などの秘密情報を適切に管理します。私たちキングジムグループの一員は、これらを不正に使用したり、第三者に漏洩することは致しません。

中間決算説明会

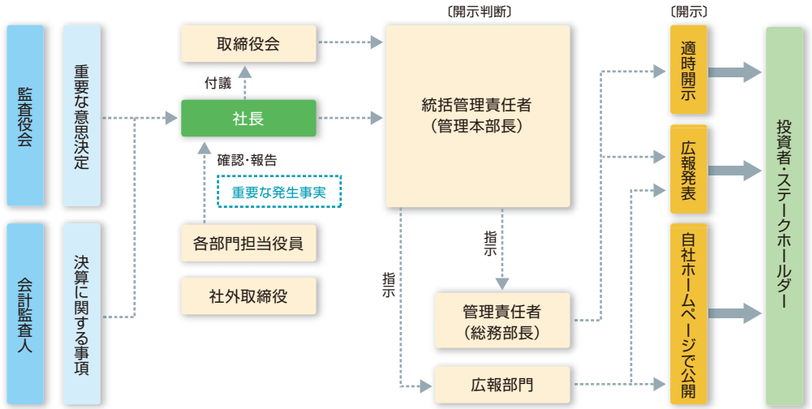
広報活動

マスコミ向け広報活動として、新商品等の情報を含め、年間67本（2007年度）のニュースリリースを発行しています。発表の方法と時期については、日本証券業協会「企業情報開示の手引き」に則り、適正に行っています。

虚偽の情報が伝わらないよう、発行リリースはもちろん、取材をお受けする際にも誤解の無いように慎重を期しています。また、マイナス情報に関しても、事実の伝達を優先し、虚飾情報を排することで、記者との信頼関係を構築しています。

IR活動

IR関連情報の開示は、東京証券取引所の「上場関連規則」及び「会社情報適時開示ガイドブック」に従い、さらに、経営判断により積極的な開示に務めています。また、年に2回の「決算説明会」により、証券アナリストや経済記者への、決算及び会社方針説明を行っています。



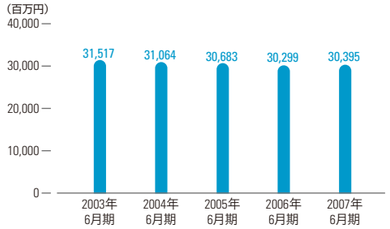
ステークホルダーとのコミュニケーション

顧客・社員・株主・社会へのコミュニケーションを次のように実施しています。

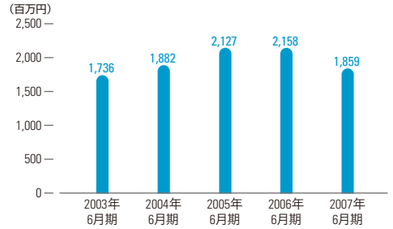
顧　客	ISOTや見本市など、各種展示会への出展。広告の積極的な展開。 マスコミ・インターネットへの記事掲出や、自社ホームページによる情報発信。
社　員	印刷物及びビデオによる社内報。2007年6月より、キングジム社内ブログを実施し、 社内コミュニケーションの活性化を図る。
株　主	株主総会の理解しやすさを意図し、ビジュアル化推進。 株主総会後の株主懇談会の実施。年2回の決算説明会。
社　会	社会貢献活動。ファイリング等、消費者啓発を目的とした社外広報活動。

財務データ

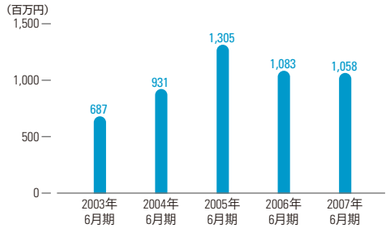
売上高



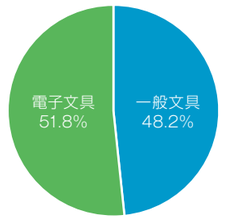
経常利益



当期純利益



売上構成比



沿革

1927年	創業者・宮本英太郎が特許人名簿、印鑑簿を発売。
1947年	ルーズリーフ、バインダー、各種ファイル類を生産発売。
1948年	「株式会社名鑑堂」を設立。
1961年	社名を「株式会社キングジム」に改称。
1964年	「キングファイル G」を発売。
1987年	東京店頭市場に株式を登録。
1988年	ラベルライター「テプラ」を発売。
1996年	P.T.KING JIM INDONESIAを設立。
1998年	KING JIM（MALAYSIA）SDN.BHD.を設立。 つくば工場と電子文具事業開発本部で、ISO9001の認証を取得。 環境憲章制定。
1999年	つくば工場で、ISO14001の認証を取得。
2001年	東京証券取引所市場第二部に上場。
2002年	中国に関連会社として大連錦宮事務用品有限公司を設立。 中国に上海錦宮牧野国際貿易有限公司を設立。
2005年	点字もできる「テプラ」発売。 営業推進部で「BS7799」「ISMS」（情報セキュリティマネジメントシステム）の認証を取得。 東京証券取引所市場第一部に指定。
2006年	CSR報告書を発行。 営業推進部で「BS7799」「ISMS」から「ISO/IEC27001」へ移行。
2007年	KING JIM（VIETNAM）Co.,Ltd.を設立。

KINGJIM GROUP PRODUCTS

ファイル

キングジムのファイルは、先進的な機能と、約800品種の豊富なバリエーションで、オフィスを中心に多くのユーザーに活用されています。

特に「キングファイル」は、日本のオフィスに「ファイリング」の考え方を普及させ、パイプ式ファイルで国内シェア1位(矢野経済研究所調べ)を持続しています。

当社は1954年に日本で初めての「パイプ式ファイル」を発売。大量の文書を確実に綴じ、長期の使用に耐え、文書の差し替えも簡単な「パイプ式ファイル」は、1964年に発表された「キングファイルG(旧Gファイル)」によって注目され、日本のオフィスのスタンダードファイルとなりました。白く明るい背見出しと合理的な色分類のできるスクエアパターンのデザインは、ファイルで初のGマーク商品(当時の通産省選定グッドデザイン商品)に選定されました。近年は、特に環境に配慮した仕様の商品開発に力を注いでいます。

また、ファイル分野で新たな市場の開拓を目指すため、2007年7月に、ご家庭内の整理·収納のニーズにお応えした「解決!生活収納シリーズ」を発表しました。このシリーズでは、家庭内の整理で困りがちな、取扱説明書や領収書、診察券、保険証などを、用途に適した具体的な収納法でご提案しています。

テプラ

SR930

SR130

「テプラ」は、1988年に「ファイルの背見出しを見やすく表示したい」というニーズから生まれました。ラベルに漢字交じりの美しい文字を印刷するコンパクトなラベルライターという「テプラ」のコンセプトは、オフィスやご家庭など、あらゆるシーンでご活用いただき、発売以来500万台を超える実績を持っています。

また、2006年4月に発売されたオフィス向け上位モデルのSR930は、公共表示などに適した定形文を日本語·英語·中国語·韓国語の4カ国語で表示できるなど、表示ラベルのニーズの多様性にお応えしています。

2007年6月に発売されたSR130は、オフィス向けラベルライターとして、メーカー希望価格(税込み)7,875円を実現し、各方面から大きな反響を呼びました。この「テプラ」は、低価格でありながら、PCで使い慣れたJIS配列に準拠したキーボード入力や、オートカッターなど、オフィスでの使用に応える機能を搭載し、ビジネスユースの新需要を開拓しつつあります。

ソリューション

ソリューション事業としての分野でユニークな商品を展開しています。

「クロックオン」は、ICカードを活用した、低価格で合理的な勤怠管理システムで、勤怠データの管理を電子的に行い、オフィスの勤怠管理をより効率的に行うことができます。

グループ会社の製品

ラドンナ

デジタルフォトプレーヤー6.5

ラドンナのフォトフレームは、毎日の生活を彩る、細部にこだわったクオリティとオリジナリティあふれるデザインのフレームを企画しており、ギフト需要を中心に百貨店店頭でシェアNo.1を誇ります。

●デジタルフォトプレーヤー6.5

写真、スライド、ムービーが再生できる、デジタルフォトフレーム。6.5型の高輝度液晶画面の採用で、画面が明るく、クリアな映像が楽しめます。

ベビーフレーム

●ベビーフレーム

赤ちゃんの成長記録を飾ることのできる、かわいらしいデザインは、出生祝いとしても最適です。

Gクラッセ

個人向けファイル·収納用品

●個人向けファイル·収納用品

Gクラッセの手がける個人向けファイル·収納用品は、インテリアに合わせやすい木目調やモノトーンなど、洗練されたデザインで展開。また、丈夫な素材で耐久性にも優れた、上質な商品をご提供しています。

WATCH&CLOCK

●WATCH&CLOCK

カタログギフトを中心に販売するGクラッセは、WATCH&CLOCKで様々なブランドを展開。カジュアルからフォーマルまで、ファッションに応じて合わせることができる、スタイリッシュなデザインの時計を多くラインアップしています。

キングジムのCSR報告書2007を読んで　山口 真奈美

企業がその存在による価値をどのように提供し新たな文化を創造していくのか、CSRの観点からも明確に現在の状況と未来の方向性を表現しているかが今問われています。今年で2度目にあたるCSR報告書ですが、それらの点からも企業の歴史とその活動、製品に至るまでのプロセス、そして「負の解消の追求」への果敢な挑戦が読み取れる報告書に仕上がっています。

昨年からの変化として、コミュニケーションに重点が置かれていることが感じられます。社を構成している人と、お客様という人。各々の声が真摯に受け止められ、また反映されながら今の製品や企業活動へと繋がっていることが伺えます。

点字テプラにあるような試みや、ノーマライゼーション社会の支援、「オープン・ファイリングシステム」や情報セキュリティの提案、そしてオフィスのスタンダードから、個人や女性、そして家庭への欠かすことの出来ないスタンダードへと社会のニーズに応えながら進化もしています。

省エネルギーの実現、製造や物流段階での取組みもさることながら、環境会計やマテリアルバランスなど現状までの数値化と変化、法やガイドラインをもとに国や社会全体で必要と思われる対策も理解しやすくまとめてあります。

また、独自性のある対策と素材へのこだわり、新たな制度の導入など細部にわたって多角的な取組みがなされ、環境対策やコンプライアンスの面も明確にされており評価できると言えるでしょう。

さらに求める箇所としては、課題や改善点、経過年度による数値を受けたさらなる数値目標などが、より具体的に打ち出されるとより素晴らしいと思います。CSR推進組織の体制とCSR委員会の役割から見えてきたもの。これらがいかに反映され、問題点があればどのように対策していくのかを表現するとさらに深みが増すことでしょう。

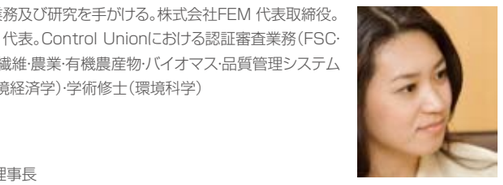
商品化に至るまでのアイデアと実現化させるまでのプロセスには、それぞれのストーリーが背景にはあります。商品を最大限に活用するための方法やコツが、登場される方々の声やストーリーから学ぶことができ、お客様に対する商品の有効活用と新たなライフスタイルのアドバイスにも通じています。

社会人の誰もが一度は手にしたことがあるであろう、キングジム製品。ダイバーシティー（多様性）を重んじながら、目的達成のために連携した結果が着実に「世の中のお役に立てること」へと結びついていることが読者にも届いたのではないでしょうか。顧客満足と高い信頼性を維持し、創業から受け継いでいる開発型企業として意識することなく実践されてきたと思われるCSRが、今、新たなる発展を遂げてきています。

山口真奈美氏 プロフィール

環境教育・環境関連事業・審査監査などの業務及び研究を手がける。株式会社FEM 代表取締役。Control Union Certifications Japan 代表。Control Unionにおける認証審査業務（FSC・有機JAS・HACCP・Textile等）は、森林・繊維・農業・有機農産物・バイオマス・品質管理システムなど分野が多岐にわたる。経済学修士（環境経済学）・学術修士（環境科学）

●NPO法人 国産材 理事
●NPO法人 エコ・エコノミー協会 理事
●有限責任事業組合 ビジネス推進機構 理事長



会社データ（2007年6月20日現在）

商号	株式会社キングジム KING JIM CO.,LTD.
代表取締役社長	宮本 彰
創業	昭和2年（1927年）4月
設立	昭和23年（1948年）8月
資本金	19億7,869万円
株式	東京証券取引所市場第一部　証券コード7962
従業員数	542人
所在地	東京都千代田区東神田二丁目10番18号
事業所数	支店・営業所・出張所…14　工場（国内）…2　物流拠点…3
連結子会社	株式会社キングビジネスサポート 株式会社Gクラッセ 株式会社ラドンナ P.T.KING JIM INDONESIA（インドネシア） KING JIM（MALAYSIA）SDN.BHD.（マレーシア） 上海錦宮牧野国際貿易有限公司（中国） KING JIM（VIETNAM）CO.,LTD.（ベトナム）
関連会社	大連錦宮事務用品有限公司（中国）

キングジム本社

つくば工場

編集後記

「キングジムCSR報告書2007」を最後までお読みいただきましてありがとうございました。本報告書の編集には、キングジムグループのCSR活動が少しでもお伝えできるように留意して、CSR委員会のメンバーがあたりました。ご意見ご感想をいただければ幸いです。

●CSR委員会　メンバー
萩田直道　山崎英一　佐藤朋直　宮川眞治　古野康弘　山口哲男　三浦なずな
市川智之　嶋田博　　山田奈弓　矢次信一郎　河村広